

平成25年3月26日  
総合評価方式の活用・改善等による  
品質確保に関する懇談会

資料1

## 直轄工事における総合評価落札方式の実施状況 (平成23年度年次報告)

「この資料は国総研のホームページ  
(<http://www.nilim.go.jp/lab/peg/index.htm>)  
に掲載されています」

<b>1. 総合評価落札方式の実施状況(経年変化等)</b>	<b>2</b>
(1) 普及・拡大の状況	2
(2) 高度技術提案型の実施状況	4
(3) 1工事あたりの競争参加者数	5
(4) 入札の状況(入札率の分布)	6
(5) 入札の状況(「落札率」と「落札率-調査基準価格」)	7
(6) 技術評価の状況(入札参加者の技術評価点得点率の分布)	8
(7) 技術評価の状況(入札参加者の技術評価点)	9
(8) 落札者に占める技術評価点の最高得点者及び最低価格者の割合	10
(9) 落札者に占める技術評価点の最高得点者・最高得点者以外、最低価格者・最低価格者以外の割合[簡易型]	11
(10) 落札者に占める技術評価点の最高得点者・最高得点者以外、最低価格者・最低価格者以外の割合[WTO(標準型)]	12
(11) 落札者の「落札率-調査基価格」と「技術評価点の得点率」	13
(12) 全入札参加者の「入札率-調査基価格」と「技術評価点の得点率」	14
(13) 落札者(評価値1位)と次点者(評価値2位)の「入札率」及び「技術評価点の得点率」の差	15
<b>2. 総合評価落札方式の実施状況(平成23年度)</b>	<b>16</b>
(1) タイプの適用状況	16
(2) 競争参加の状況	17
<b>3. 入札の状況(平成23年度)</b>	<b>18</b>
(1) 入札率の分布	18
(2) 「入札率-調査基準価格率」の分布	20
<b>4. 技術評価の状況(平成23年度)</b>	<b>22</b>
(1) 技術評価点の状況(得点率の分布)	22
(2) 技術評価点の状況(1位同点者数)	24
(3) 技術評価点の状況(1位と2位の得点率の差の分布)	26
<b>5. 総合評価の結果と落札者の特徴(平成23年度)</b>	<b>28</b>
(1) 落札者の内訳	28
(2) 落札者の「落札率-調査基準価格」と「技術評価点の得点率」	30
(3) 落札者(評価値1位)と次点者(評価値2位)の「入札率」及び「技術評価点の得点率」の差	34

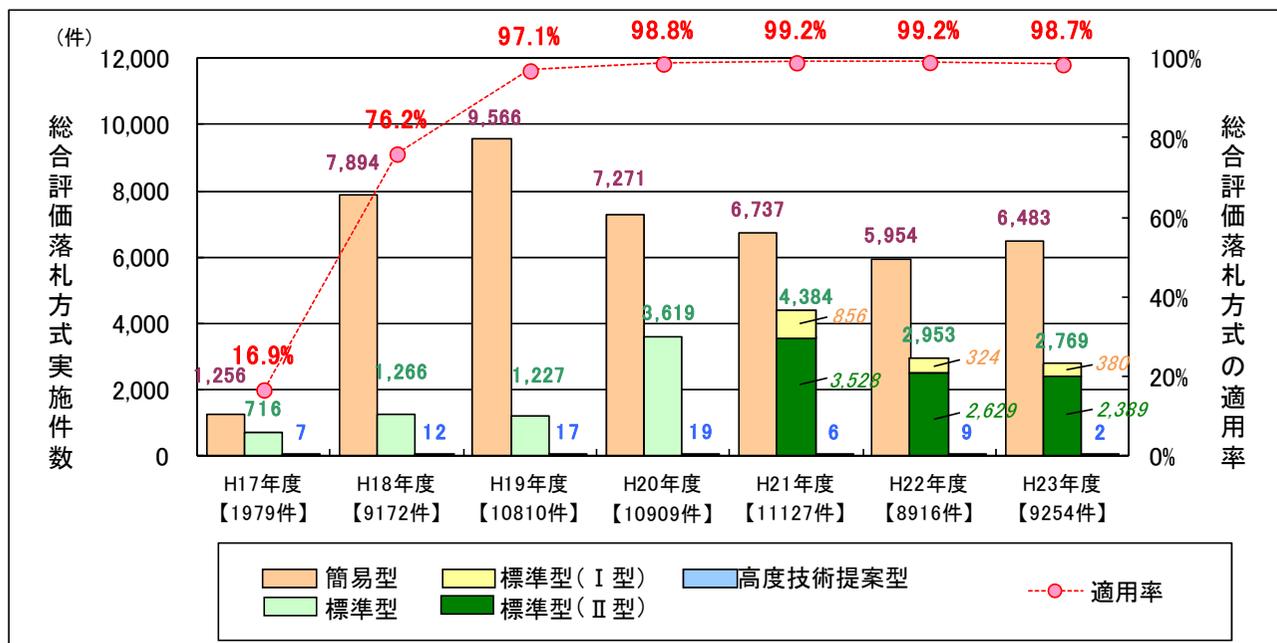
# 1. 総合評価落札方式の実施状況(経年変化等)

## (1) 普及・拡大の状況

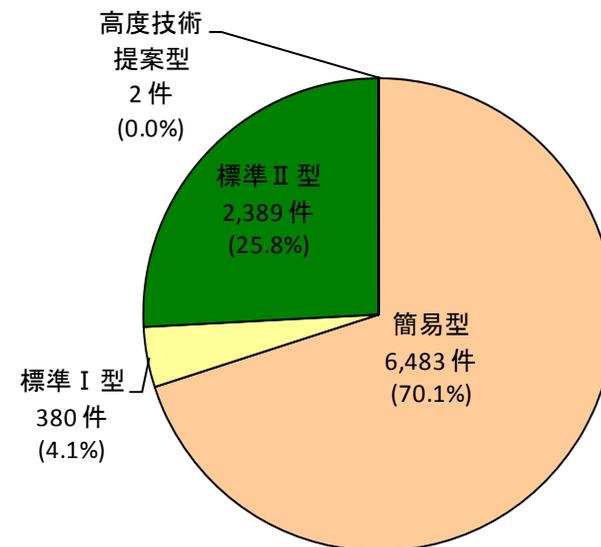
### ①実施件数

- 平成23年度において、総合評価落札方式の適用率は件数ベースで98.7%となり、ほぼ100%の適用状況となっている。
- 平成23年度において、タイプ別で最も多いのは簡易型の6,483件(全体に占める割合70.1%)で、最も少ないのは高度技術提案型の2件である。

〔実施件数(平成17年度～平成23年度)〕



〔件数シェア(平成23年度)〕



注1) 8地方整備局の工事を対象(港湾・空港関係工事を含む)。

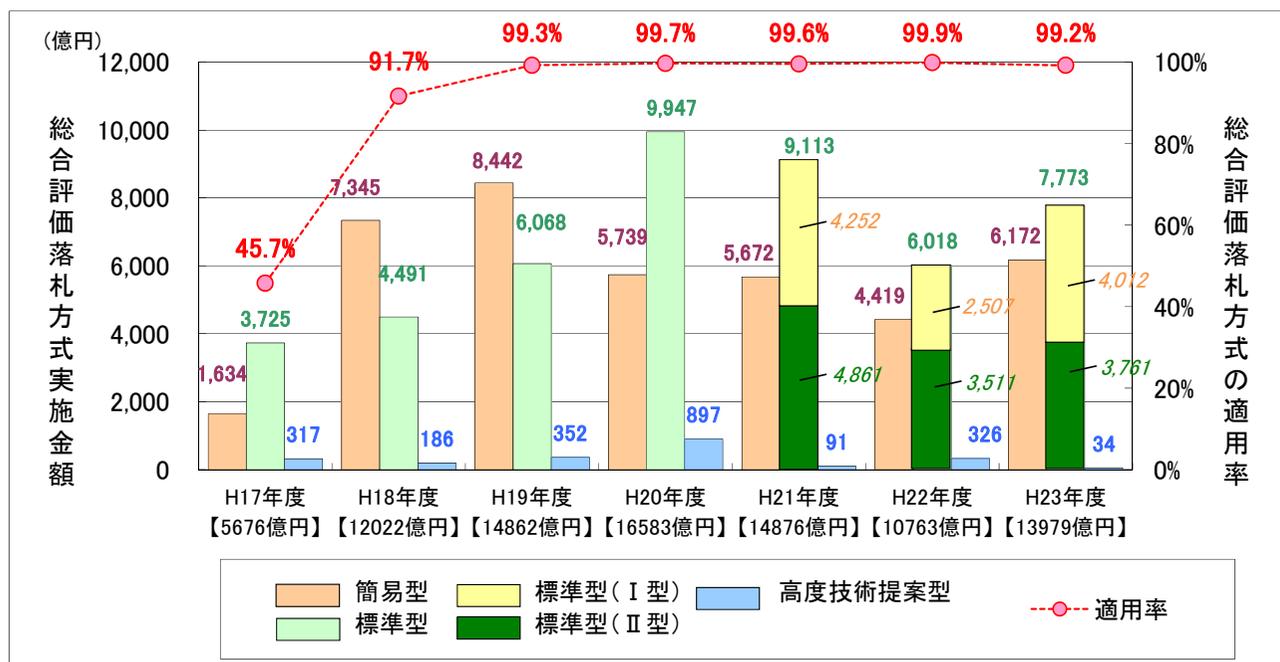
注2) 適用率は随意契約を除く全発注工事件数に対する総合評価落札方式実施件数の割合。

# 1. 総合評価落札方式の実施状況(経年変化等)

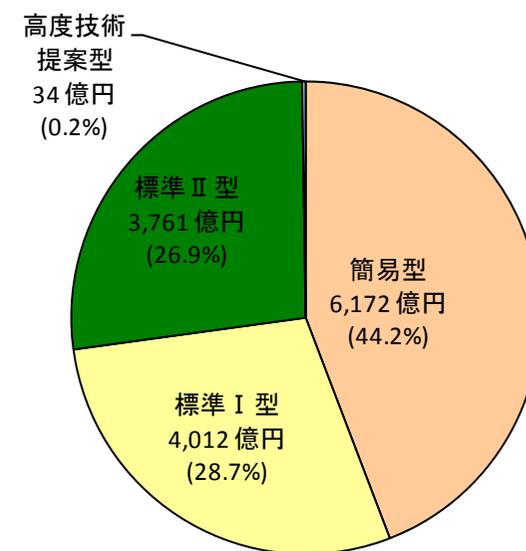
## ②実施金額

- 平成23年度において、総合評価落札方式の適用率は金額ベースで99.2%となり、ほぼ100%の適用状況となっている。
- 平成23年度において、タイプ別で最も多いのは標準型(標準Ⅱ型+標準Ⅰ型)の7,773億円(全体に占める割合55.6%)で、最も少ないのは高度技術提案型の34億円(同0.2%)である。

〔実施金額(平成17年度～平成23年度)〕



〔金額シェア(平成23年度)〕



注1) 8地方整備局の工事を対象 (港湾・空港関係工事を含む)。

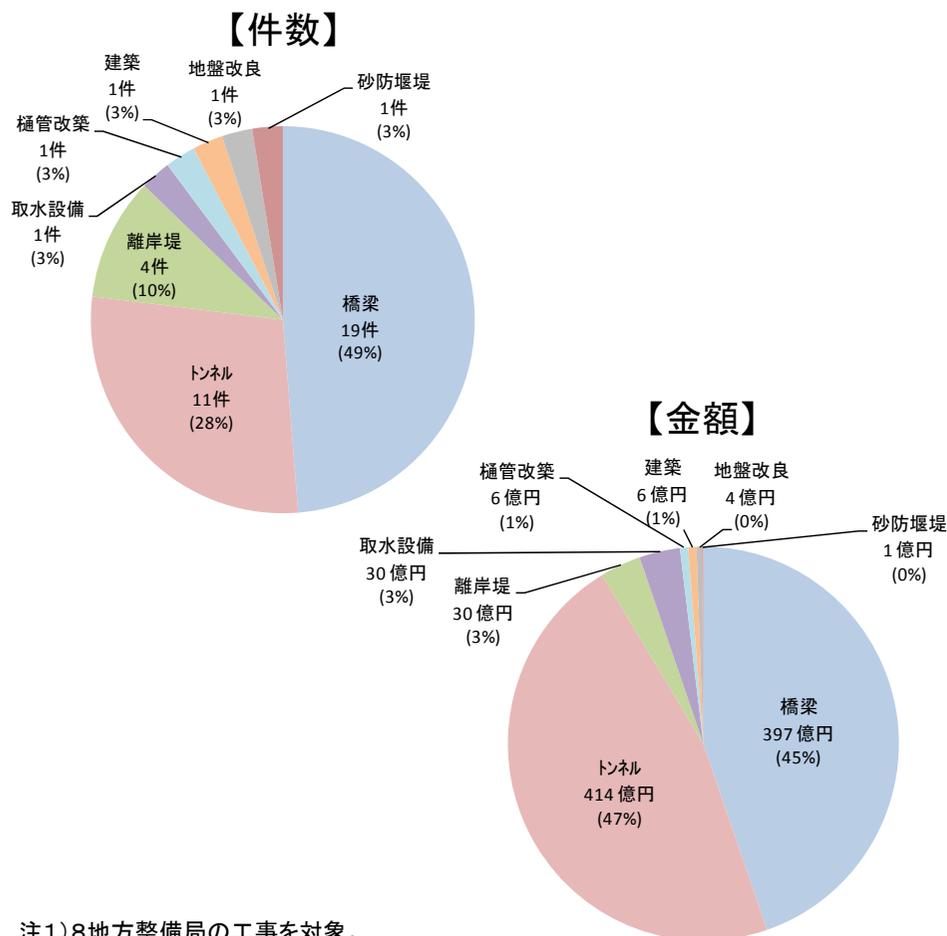
注2) 適用率は随意契約を除く全発注工事金額に対する総合評価落札方式実施金額の割合。

# 1. 総合評価落札方式の実施状況(経年変化等)

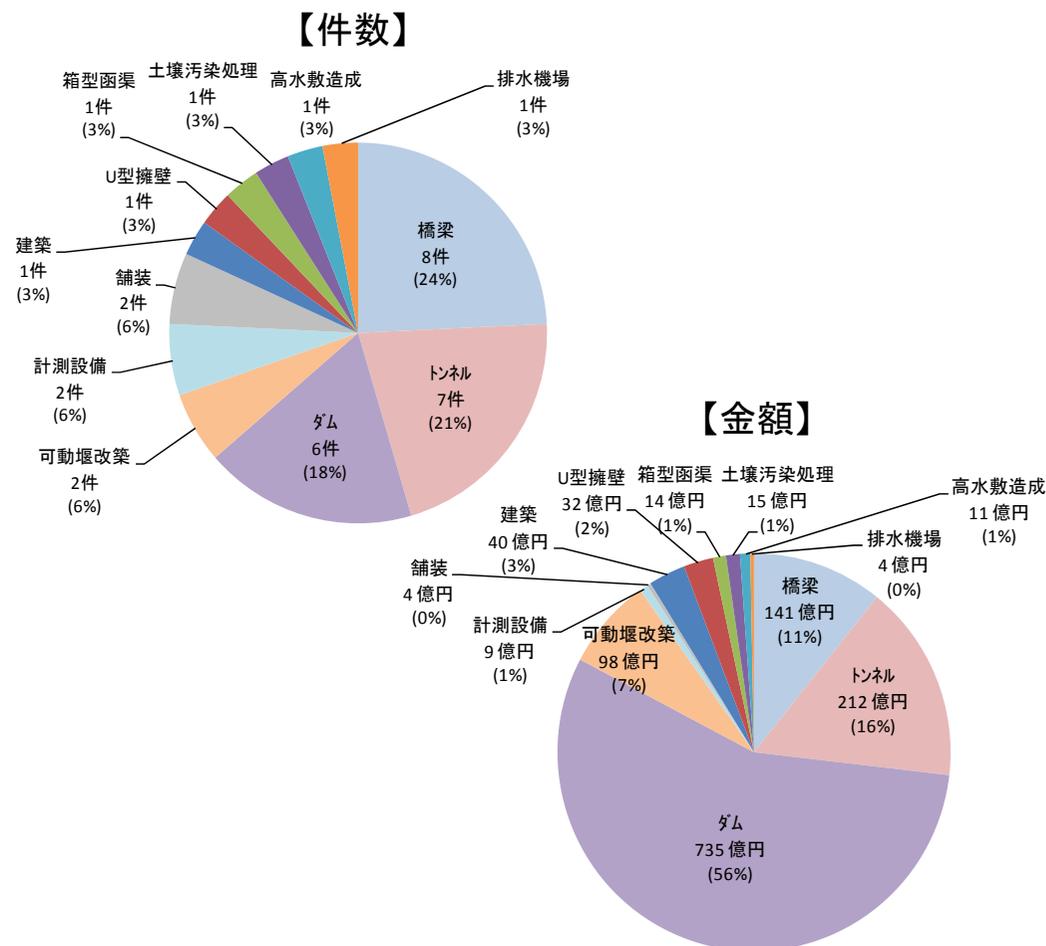
## (2) 高度技術提案型の実施状況

- 高度技術提案型Ⅱ型の適用は、橋梁、トンネルで全体の77%(件数)、92%(金額)となっている。
- 高度技術提案型Ⅲ型の適用は、橋梁、トンネル、ダムで全体の63%(件数)、83%(金額)となっている。

### 〔高度技術提案型Ⅱ型〕



### 〔高度技術提案型Ⅲ型〕



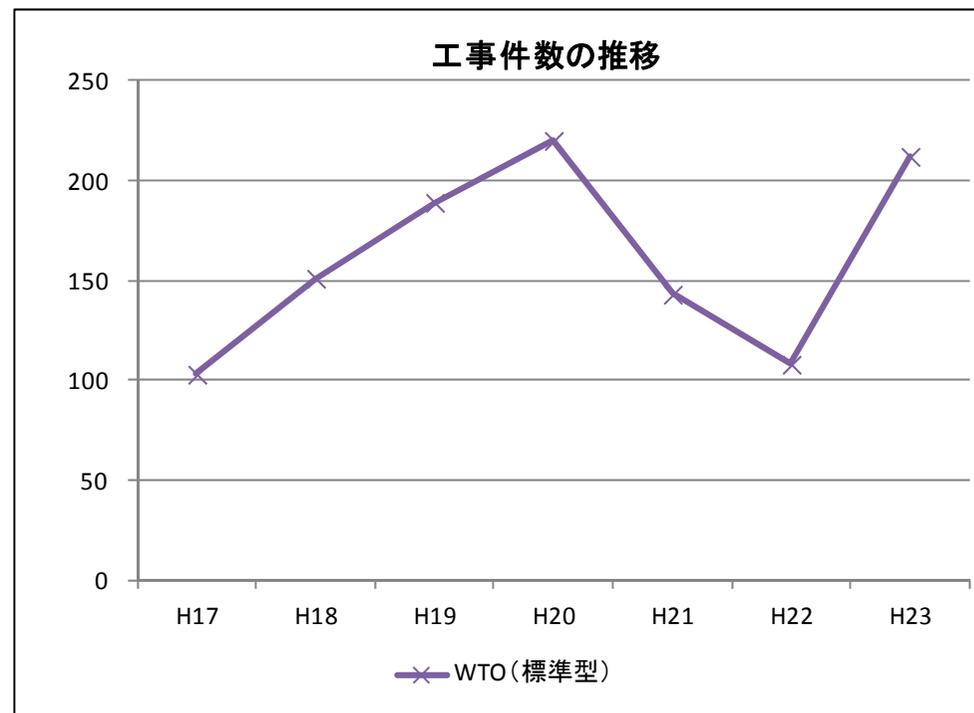
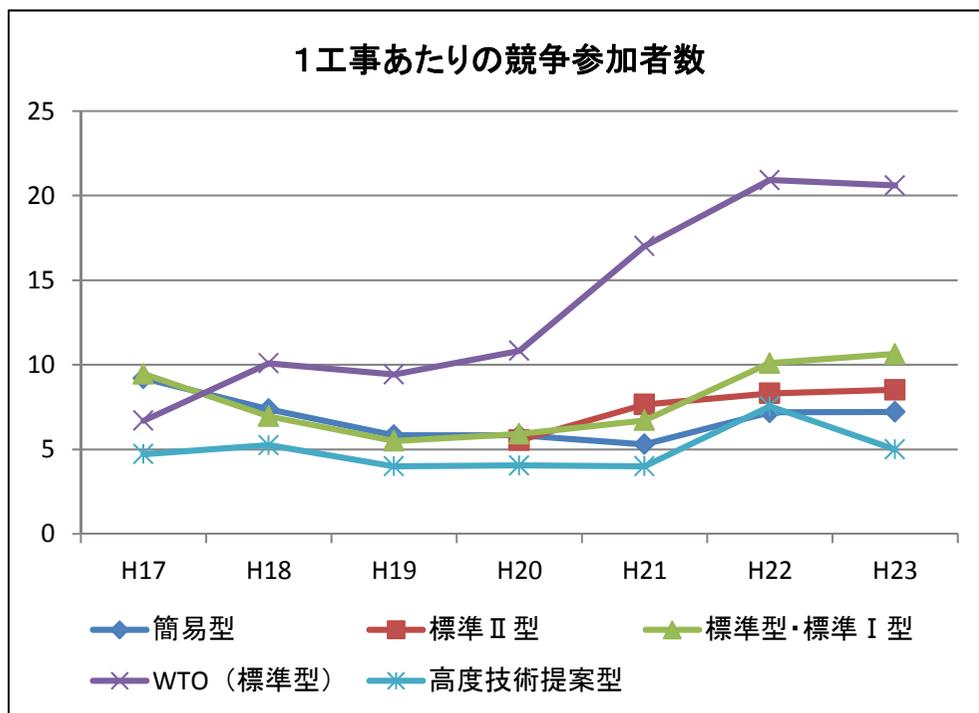
注1) 8地方整備局の工事を対象。  
(港湾・空港関係工事を除く)

# 1. 総合評価落札方式の実施状況(経年変化等)



## (3) 1工事あたりの競争参加者数

- WTO(標準型)の工事件数がH20年度をピークに減少していたが、H23年度はH20年度水準まで持ち直している。
- WTO(標準型)において、1工事あたりの競争参加者数は、H20年度の10者程度からH22年度には20社程度まで倍増し、H23年度もその状態が続いている。



注1) 8地方整備局の工事を対象。(港湾・空港関係工事を除く)  
 注2) 価格競争を除く。  
 注3) 加算方式の工事を除く。

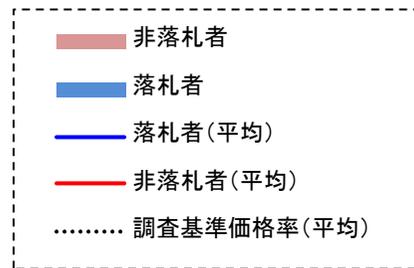
注4) 競争参加者数には、辞退・無効等及び予定価格超過者を含む。  
 注5) 競争参加者数は、H22年度以前を7地方整備局で集計。

# 1. 総合評価落札方式の実施状況(経年変化等)

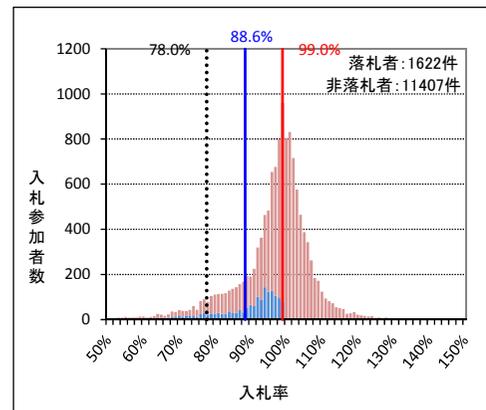
## (4) 入札の状況(入札率の分布)

- 入札率は経年で下落傾向にあり、平成17年度時点には100%に付近に集中していた分布が、H18年度から調査基準価格付近にもピークが出現し、H21年度以降は調査基準価格付近がピークとなっている。

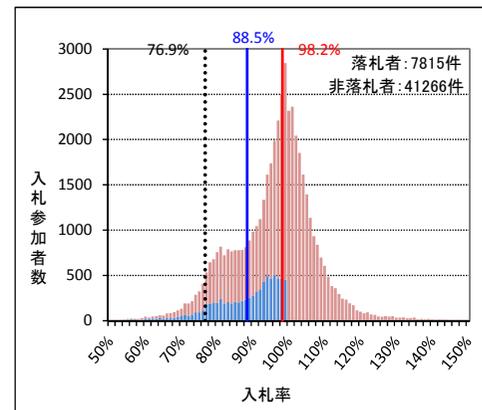
### [凡例]



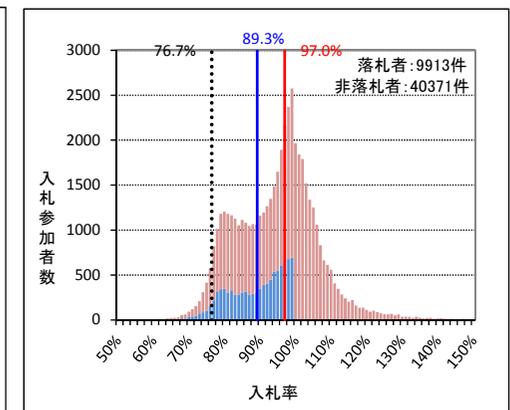
平成17年度



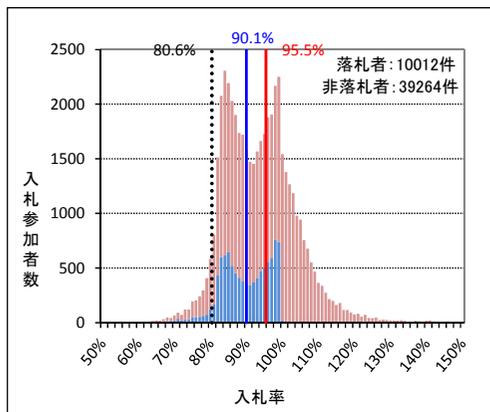
平成18年度



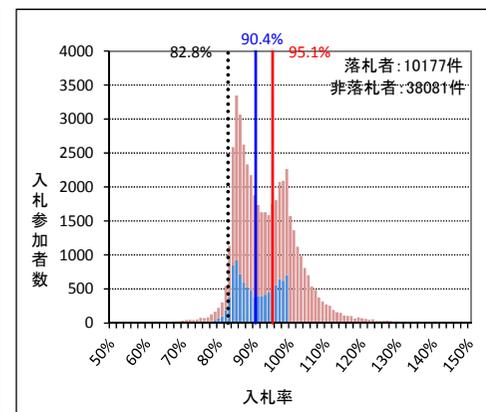
平成19年度



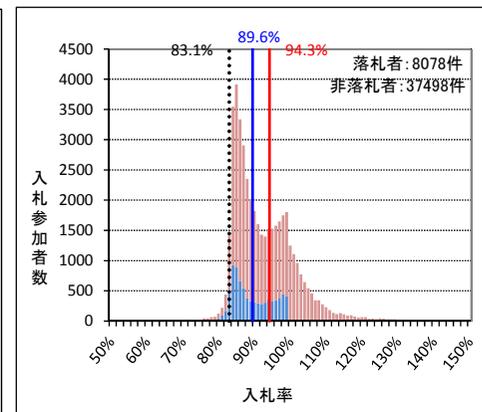
平成20年度



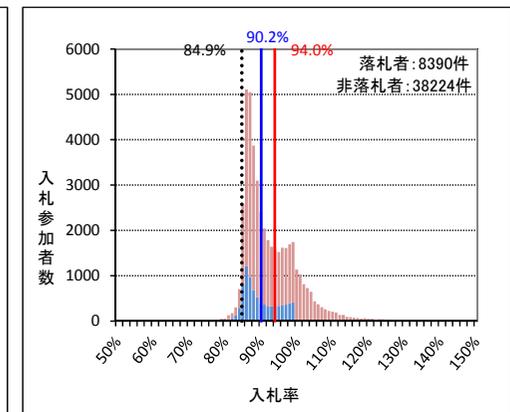
平成21年度



平成22年度



平成23年度



注1) 8地方整備局の工事を対象。(港湾・空港関係工事を除く)  
注2) 価格競争を除く。

注3) 加算方式の工事を除く。  
注4) 調査基準価格が設定されていない工事を除く。

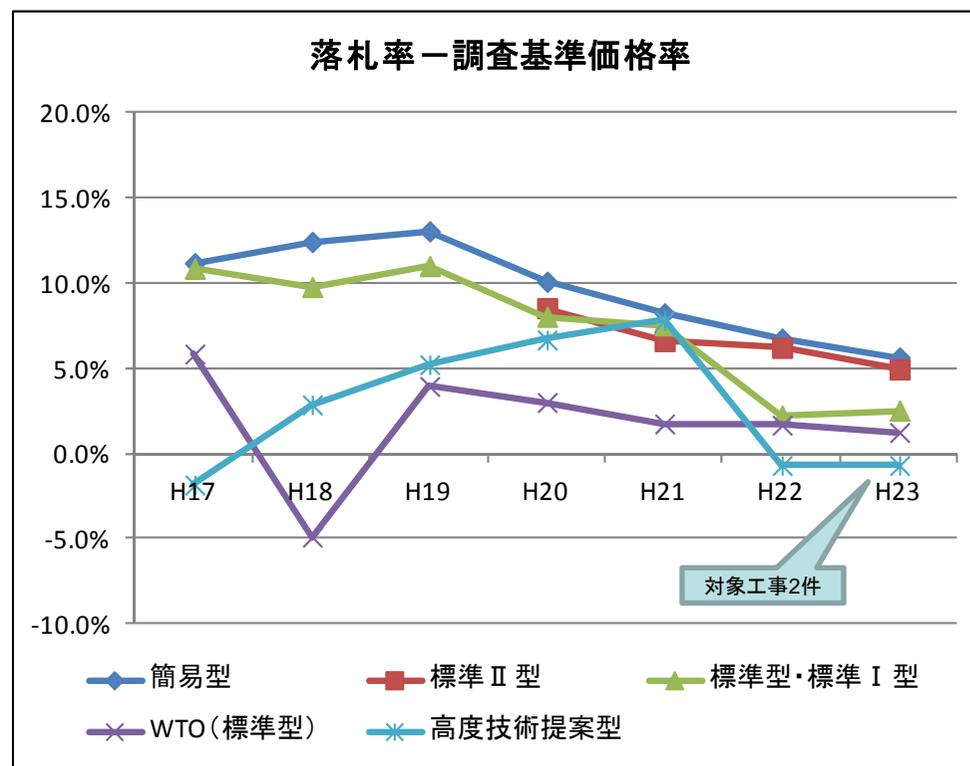
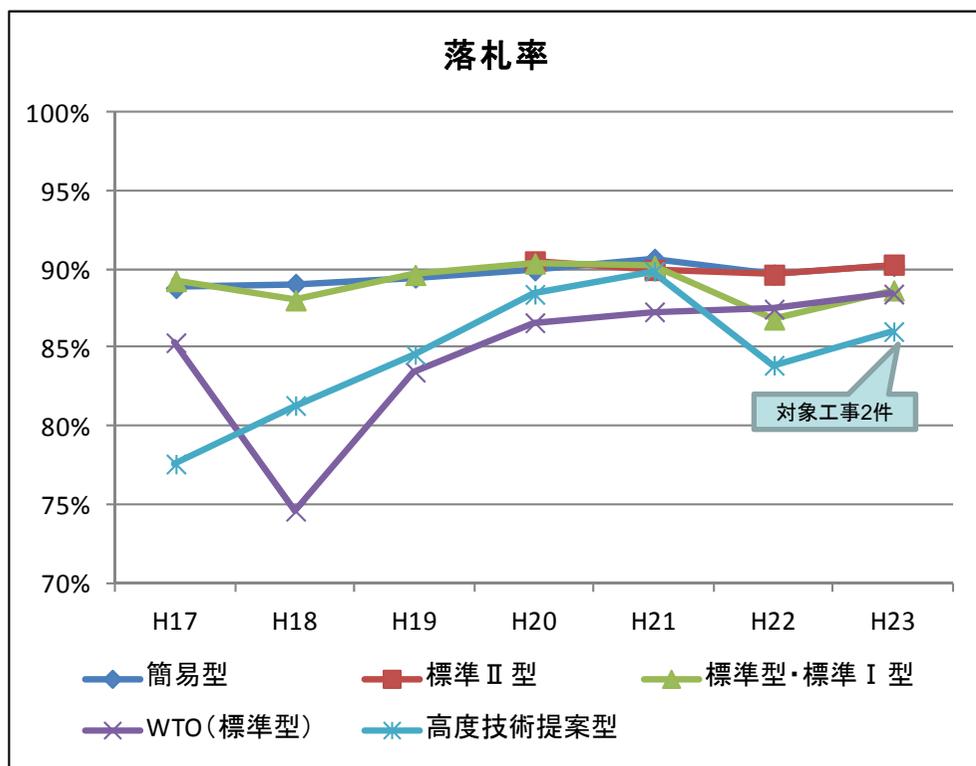
注5) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。

# 1. 総合評価落札方式の実施状況(経年変化等)



## (5) 入札の状況(「落札率」と「落札率-調査基準価格率」)

■ WTO(標準型)の落札率については、H18年度以降上昇している。一方、落札率と調査基準価格率の差はH19年度以降縮小傾向にある。



注1) 8地方整備局の工事を対象。(港湾・空港関係工事を除く)  
 注2) 価格競争を除く。  
 注3) 加算方式の工事を除く。  
 注4) 落札率-調査基準価格率は、調査基準価格が設定されていない工事を除く。

# 1. 総合評価落札方式の実施状況(経年変化等)

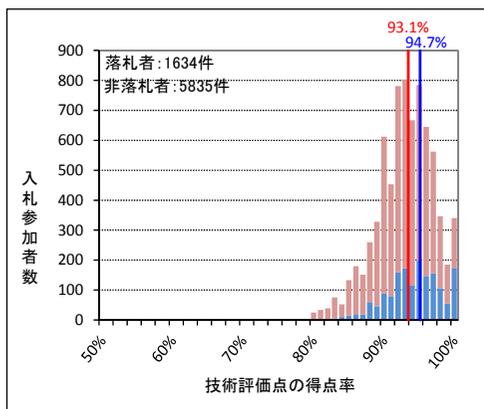
## (6) 技術評価の状況(入札参加者の技術評価点得点率の分布)

■ 技術評価点の得点率については、顕著な経年変化は見受けられない。

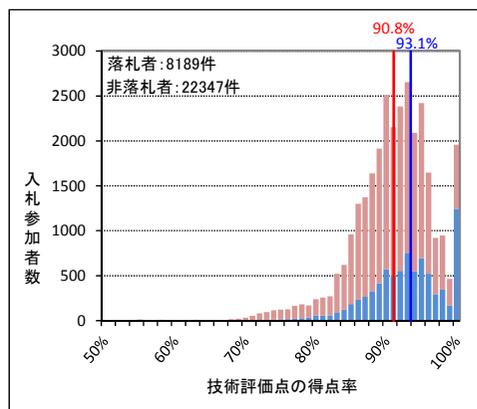
### [凡例]



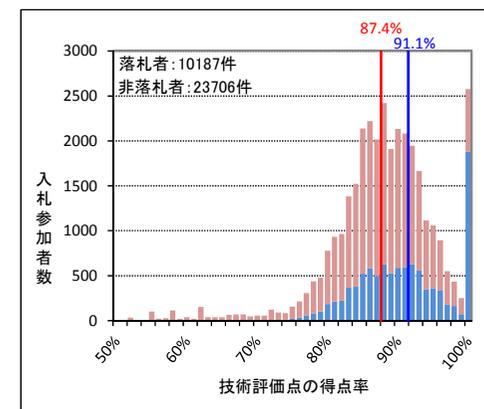
平成17年度



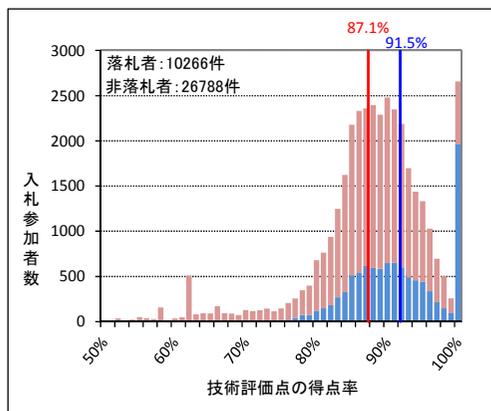
平成18年度



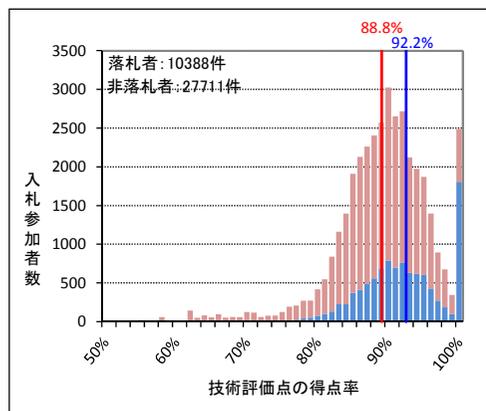
平成19年度



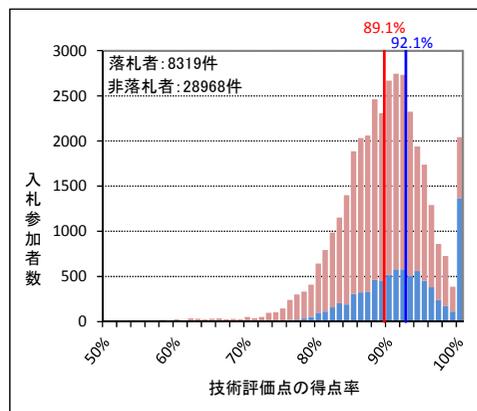
平成20年度



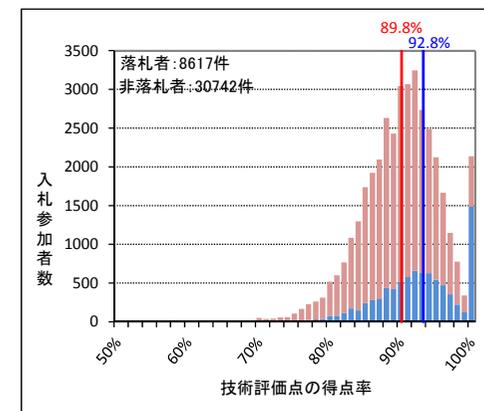
平成21年度



平成22年度



平成23年度



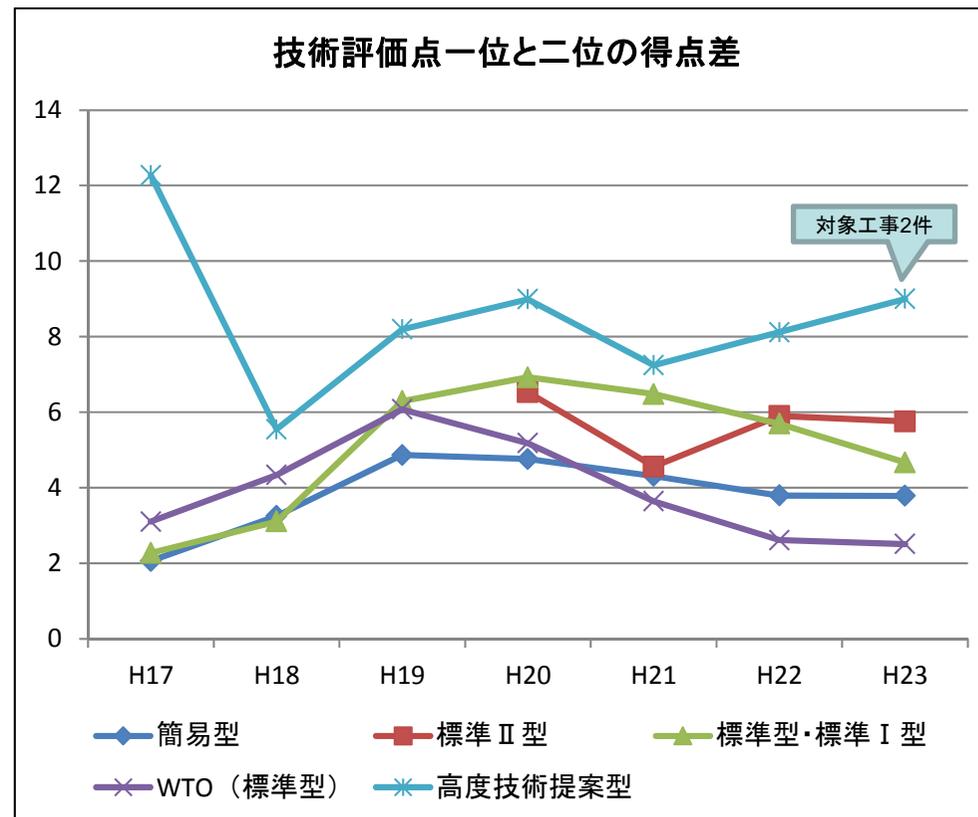
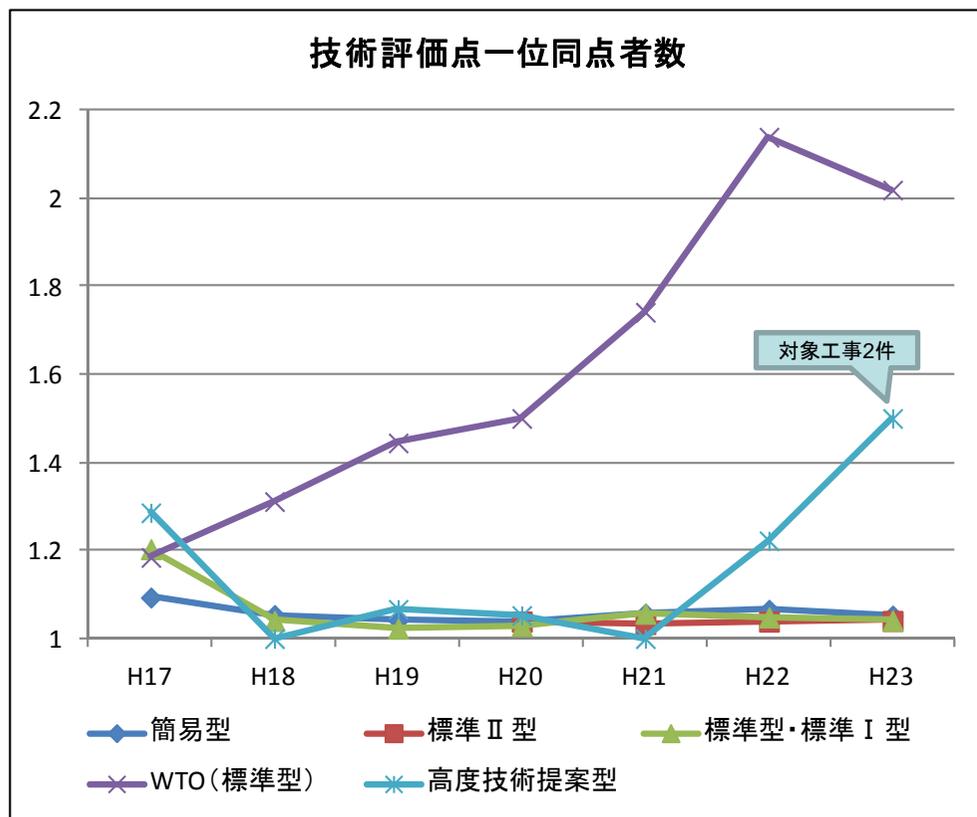
注1) 8地方整備局の工事を対象。(港湾・空港関係工事を除く)  
注2) 価格競争を除く。

注3) 加算方式の工事を除く。  
注4) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。(ここでは更に予定価格超過者を除く。)

# 1. 総合評価落札方式の実施状況(経年変化等)

## (7) 技術評価の状況(入札参加者の技術評価点)

- WTO(標準型)の技術評価点一位同点者数はH22年度までほぼ倍増し、H23年度は若干減少している。
- 技術評価点一位と二位の得点差は、WTO(標準型)、標準型・標準I型、簡易型で縮小傾向にある。



注1) 8地方整備局の工事を対象。(港湾・空港関係工事を除く)

注2) 価格競争を除く。

注3) 加算方式の工事を除く。

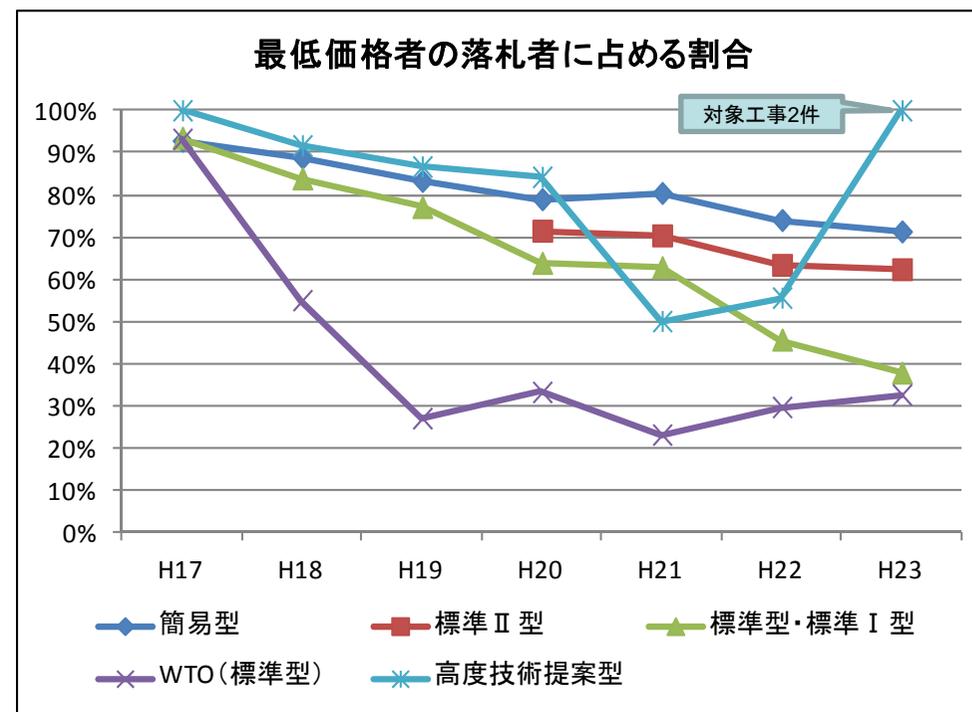
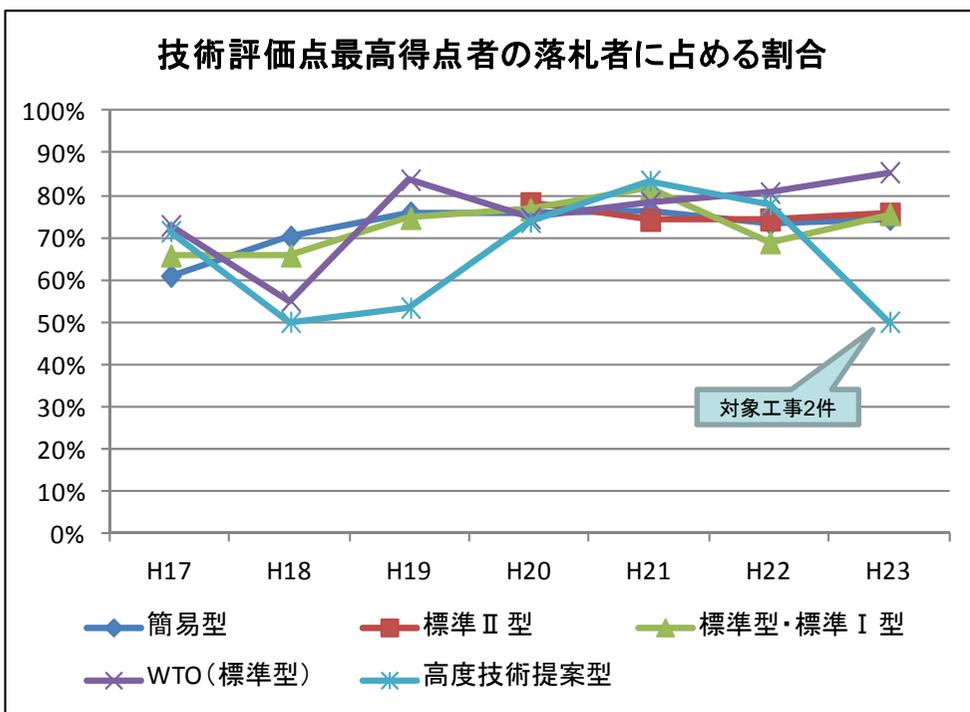
注4) 技術評価点一位と二位の得点差は予定価格内1者の工事を除き集計。

注5) 技術評価点の順位は、辞退・無効等及び予定価格超過者を除き判定。

# 1. 総合評価落札方式の実施状況(経年変化等)

## (8) 落札者に占める技術評価点の最高得点者及び最低価格者の割合

- 落札者の内、技術評価点の最高得点者の占める割合は増加傾向にあり、最低価格者の占める割合は減少傾向にある。



注1) 8地方整備局の工事を対象。(港湾・空港関係工事を除く)

注2) 価格競争を除く。

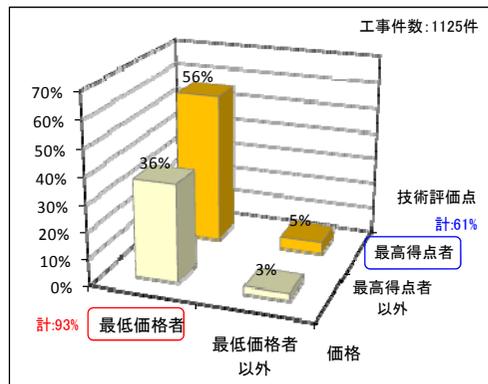
注3) 加算方式の工事を除く。

# 1. 総合評価落札方式の実施状況(経年変化等)

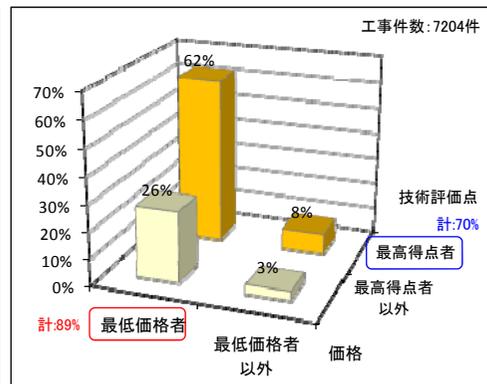
## (9) 落札者に占める技術評価点の最高得点者・最高得点者以外、最低価格者・最低価格者以外の割合 [簡易型]

■ 落札者の内、技術評価点の最高得点者の占める割合は平成20年度以降は75%程度と大きな変動がみられないが、うち最低価格者の占める割合は減少傾向にある。

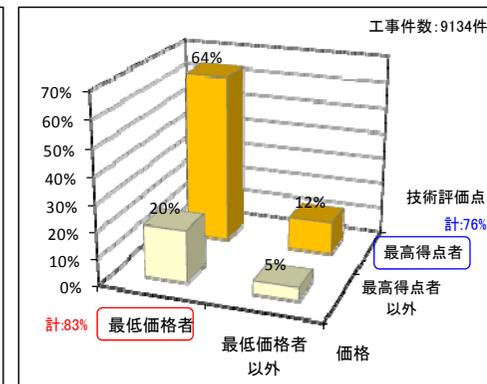
平成17年度



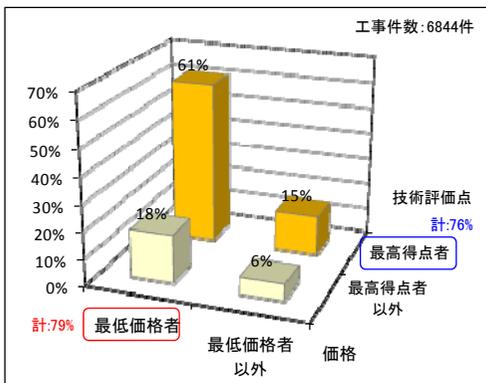
平成18年度



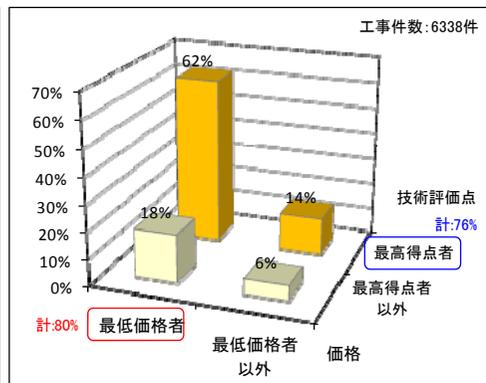
平成19年度



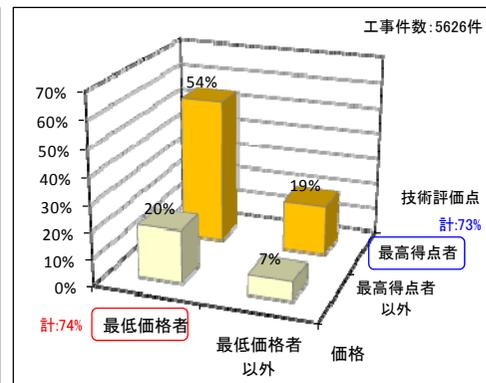
平成20年度



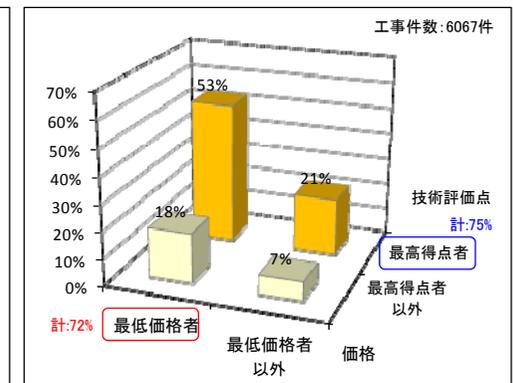
平成21年度



平成22年度



平成23年度



注1) 8地方整備局の工事を対象。(港湾・空港関係工事を除く)

注4) 価格及び技術評価点の区分は、辞退・無効等及び予定価格超過者を除き判定。

注2) 価格競争を除く。

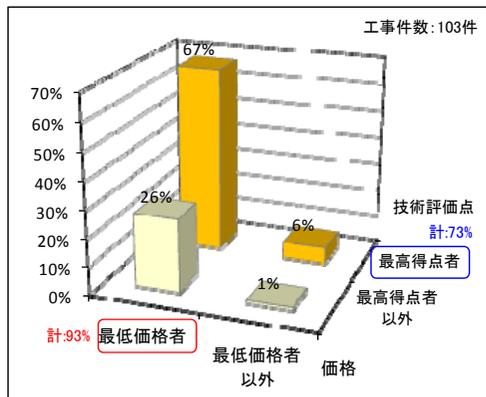
注3) 加算方式の工事を除く。

# 1. 総合評価落札方式の実施状況(経年変化等)

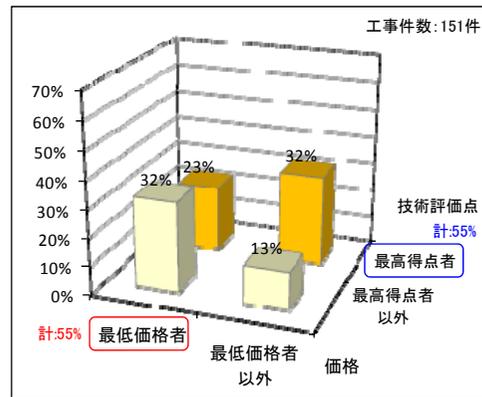
## (10) 落札者に占める技術評価点の最高得点者・最高得点者以外、最低価格者・最低価格者以外の割合 [WTO (標準型)]

- 落札者の内、技術評価点の最高得点者の占める割合は増加傾向にあり、最低価格者の占める割合はH19年度までに大幅に減少し、その後横ばいである。

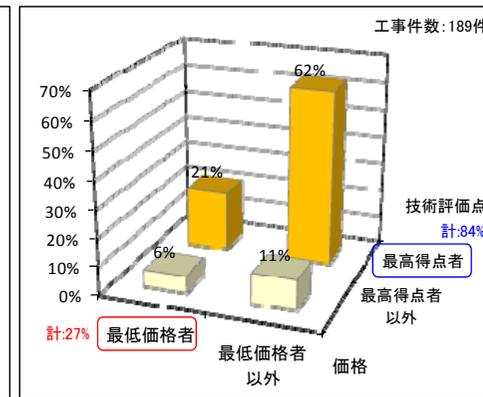
平成17年度



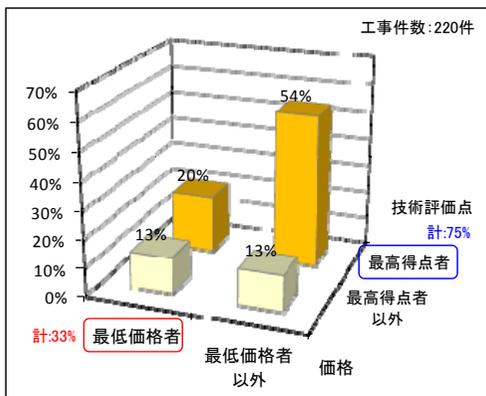
平成18年度



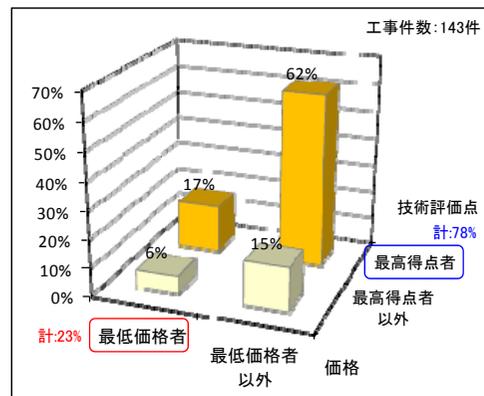
平成19年度



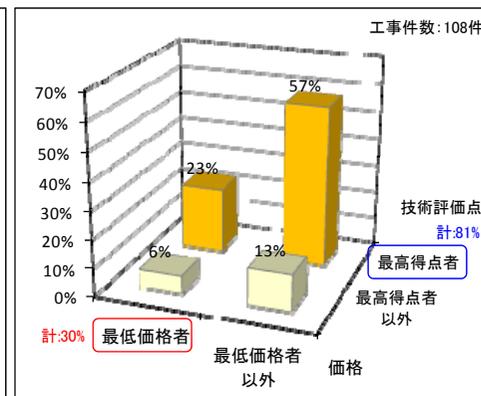
平成20年度



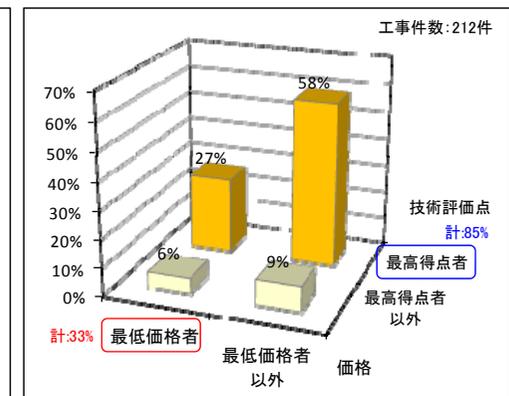
平成21年度



平成22年度



平成23年度



注1) 8地方整備局の工事を対象。(港湾・空港関係工事を除く)

注4) 価格及び技術評価点の区分は、辞退・無効等及び予定価格超過者を除き判定。

注2) 価格競争を除く。

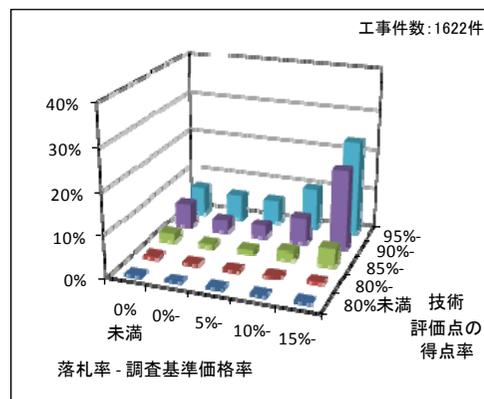
注3) 加算方式の工事を除く。

# 1. 総合評価落札方式の実施状況(経年変化等)

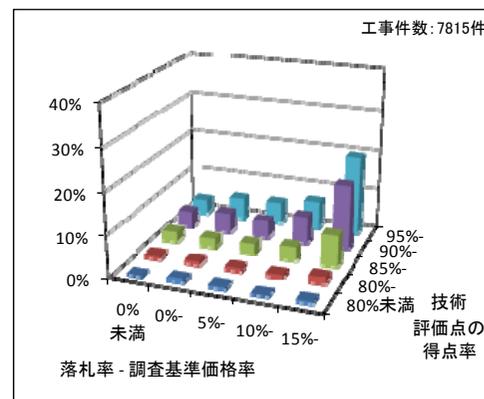
## (11) 落札者の「落札率-調査基準価格率」と「技術評価点の得点率」

- 落札率と調査基準価格率の差は年々縮小しており、近年では調査基準価格付近の価格で入札が行われている。
- なお、技術評価点の得点率については、顕著な経年変化が見受けられない。

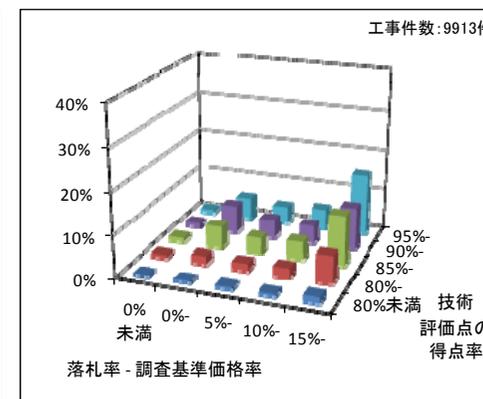
平成17年度



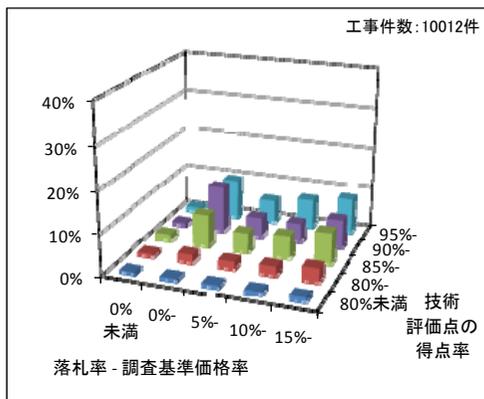
平成18年度



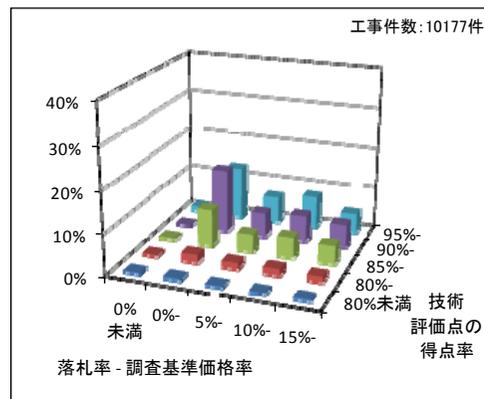
平成19年度



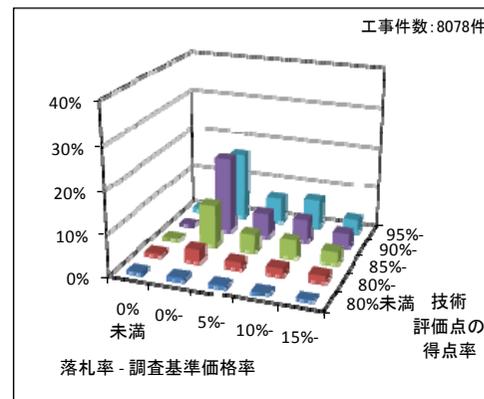
平成20年度



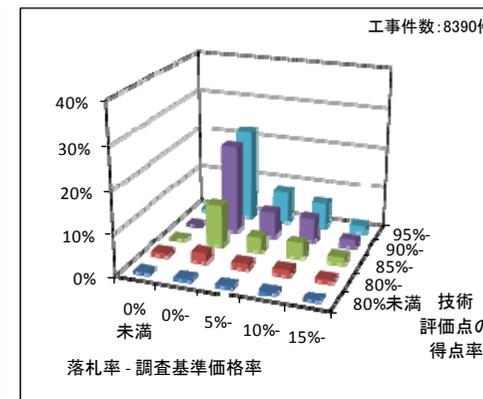
平成21年度



平成22年度



平成23年度



注1) 8地方整備局の工事を対象。(港湾・空港関係工事を除く)  
注2) 価格競争を除く。

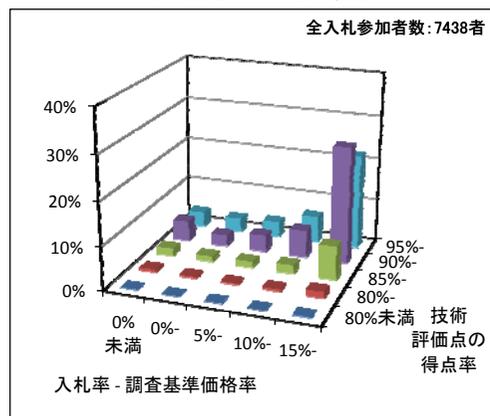
注3) 加算方式の工事を除く。  
注4) 調査基準価格が設定されていない工事を除く。

# 1. 総合評価落札方式の実施状況(経年変化等)

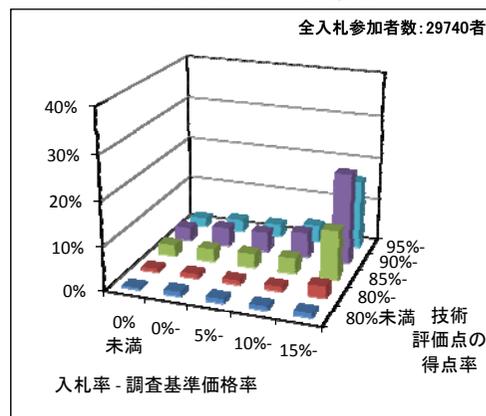
## (12) 全入札参加者の「入札率-調査基準価格率」と「技術評価点の得点率」

- 落札者と同様に、入札率と調査基準価格率の差は年々縮小しており、近年では調査基準価格付近の価格で入札が行われている。

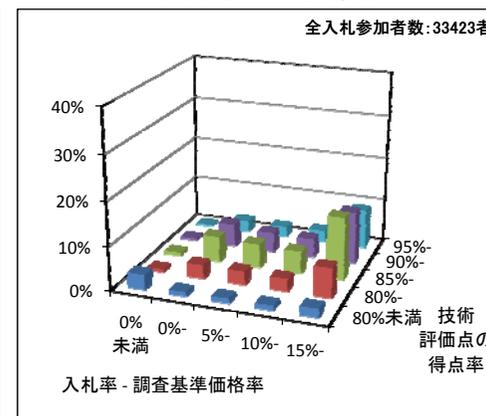
平成17年度



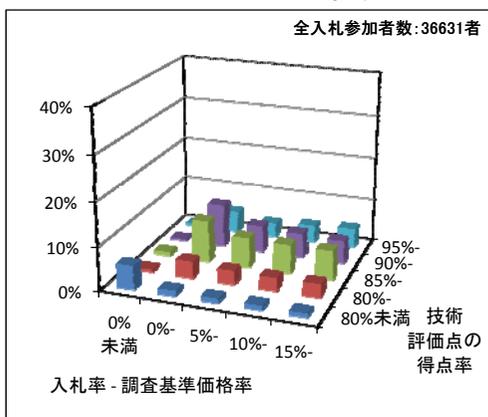
平成18年度



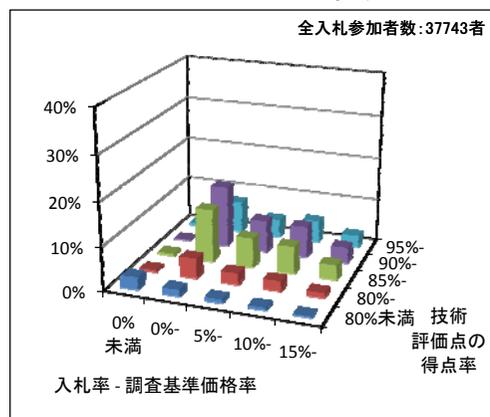
平成19年度



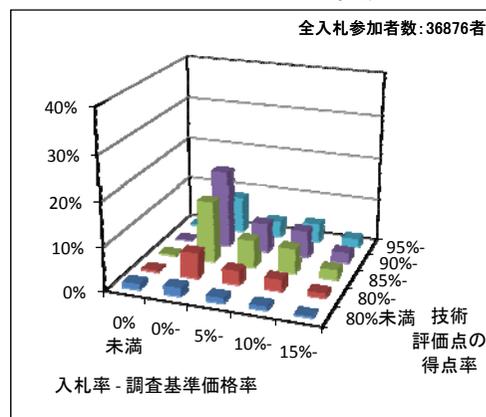
平成20年度



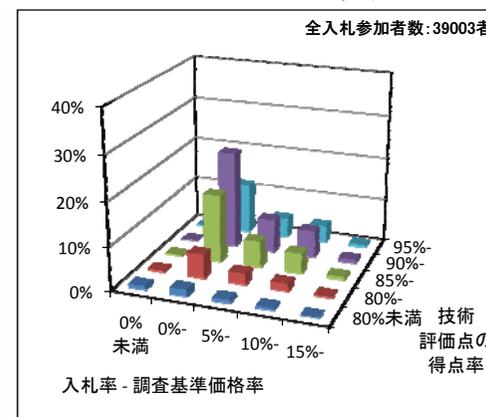
平成21年度



平成22年度



平成23年度



注1) 8地方整備局の工事を対象。(港湾・空港関係工事を除く)  
 注2) 価格競争を除く。  
 注3) 加算方式の工事を除く。

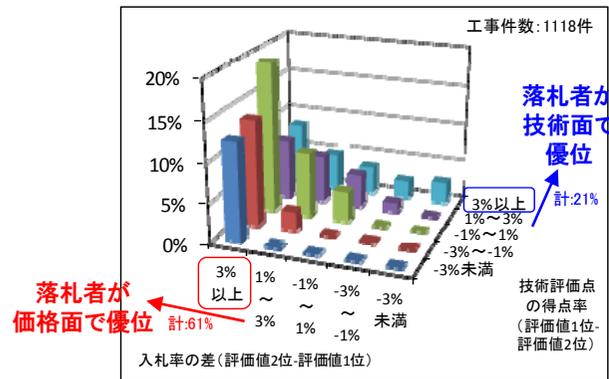
注4) 調査基準価格が設定されていない工事を除く。  
 注5) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。(ここでは更に予定価格超過者を除く)

# 1. 総合評価落札方式の実施状況(経年変化等)

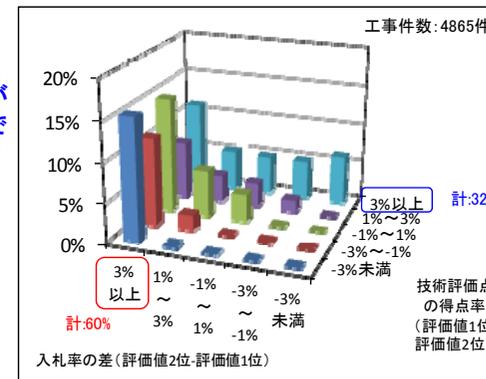
## (13) 落札者(評価値1位)と次点者(評価値2位)の「入札率」及び「技術評価点の得点率」の差

■ 落札者(評価値1位)と次点者(評価値2位)の入札率の差は、経年で縮小傾向にある。

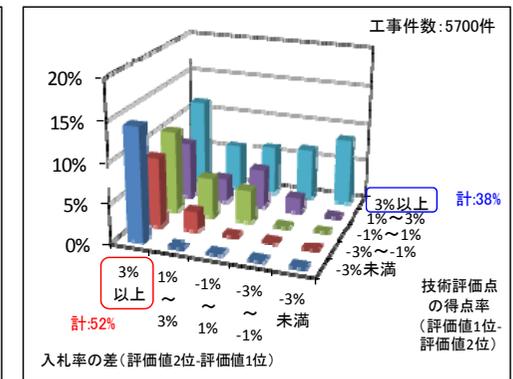
平成17年度



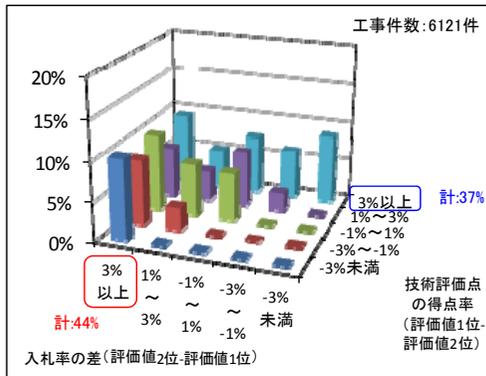
平成18年度



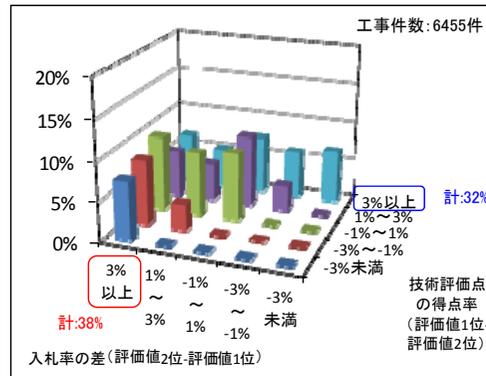
平成19年度



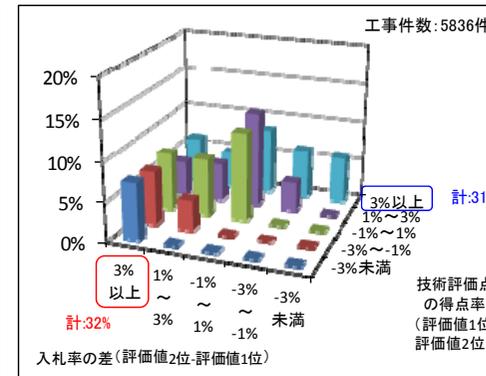
平成20年度



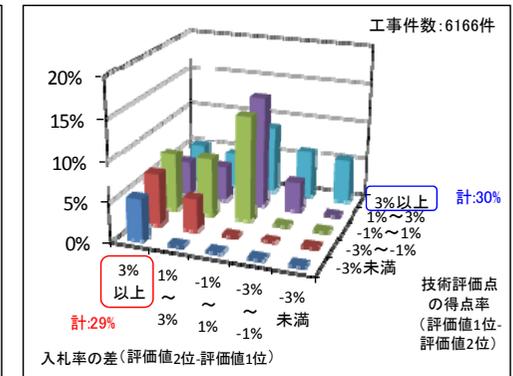
平成21年度



平成22年度



平成23年度



注1) 8地方整備局の工事を対象。(港湾・空港関係工事を除く)  
 注2) 価格競争を除く。  
 注3) 加算方式の工事を除く。

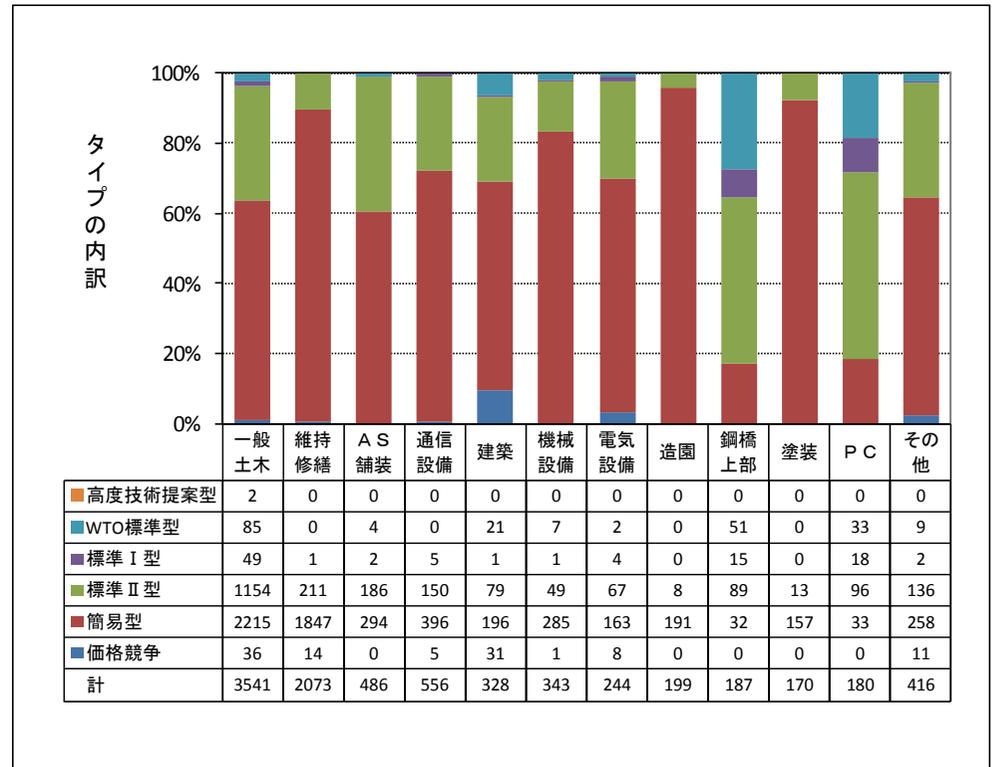
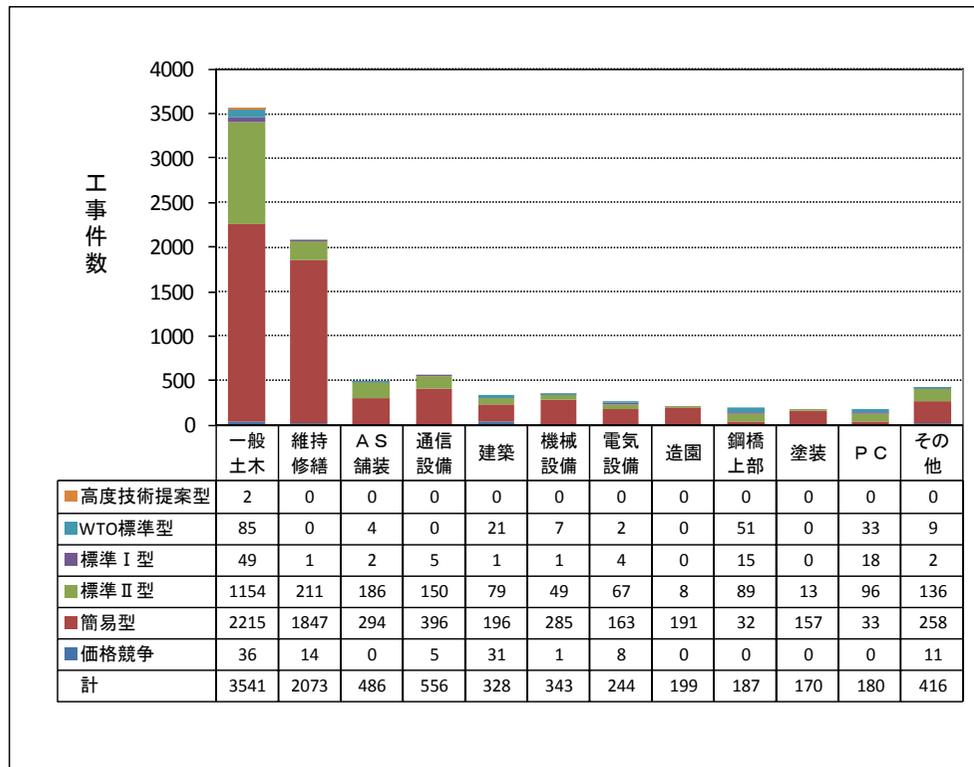
注4) 予定価格内1者の工事を除く。  
 注5) 落札者(評価値1位)と次点者(評価値2位)の差は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

## 2. 総合評価落札方式の実施状況(平成23年度)

### (1) タイプの適用状況

- 「維持修繕」、「造園」、「塗装」は、簡易型の適用率が高い。
- 「鋼橋上部」、「PC」は、簡易型の適用率が低く、標準Ⅱ型、標準Ⅰ型、WTO標準型の適用率が高い。

工事件数: 8,723件



注1) 8地方整備局(港湾空港関係工事を除く)の平成23年度契約工事を対象。

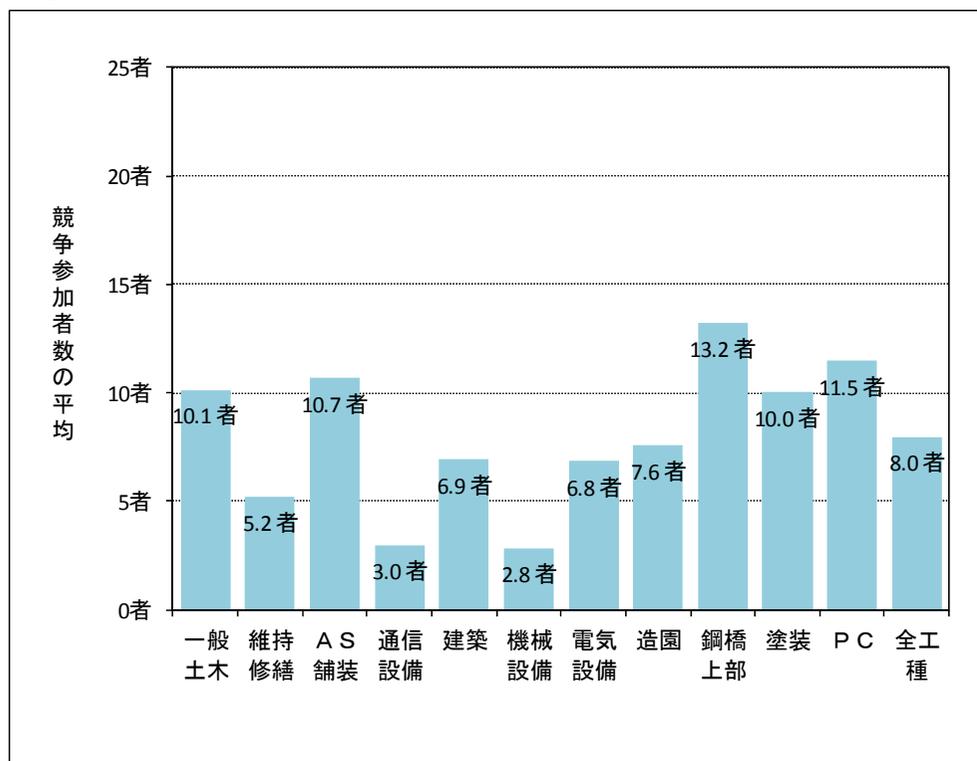
## 2. 総合評価落札方式の実施状況(平成23年度)



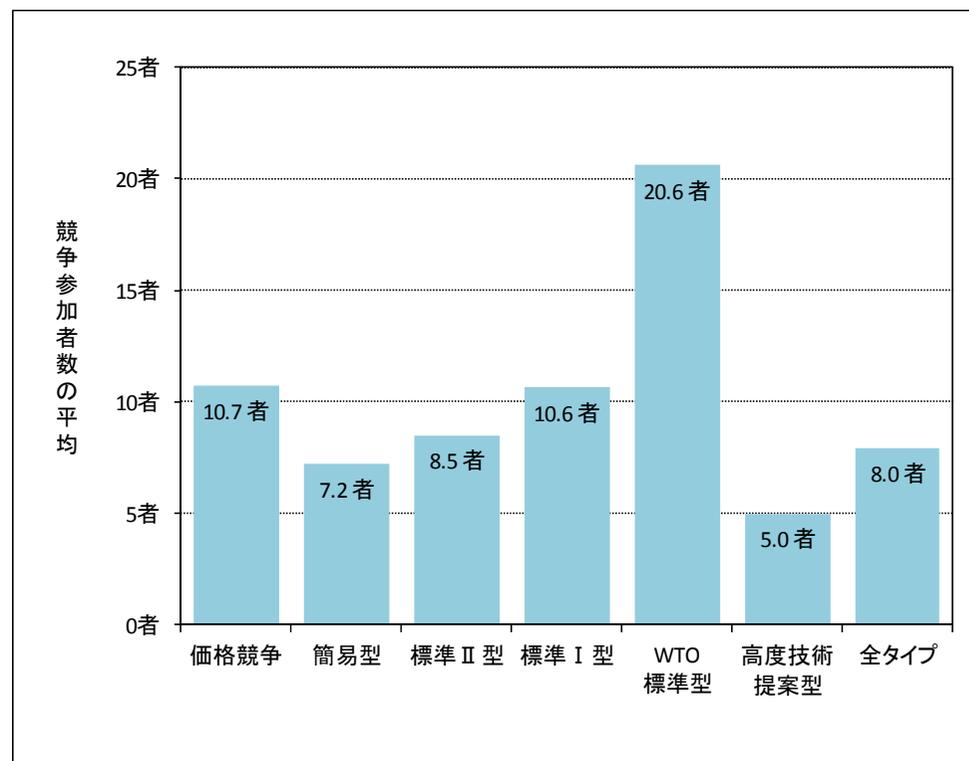
### (2) 競争参加の状況

- 競争参加者数は、「一般土木」、「AS舗装」、「鋼橋上部」、「塗装」、「PC」が平均10者以上と多く、「通信設備」、「機械設備」が平均3者以下と少ない。
- 上位タイプを適用した工事ほど、競争参加者数が多く、特にWTO標準型では20.6者とその傾向が顕著である。

#### ① 工事種別別



#### ② 総合評価のタイプ別



注1) 8地方整備局(港湾空港関係工事を除く)の平成23年度契約工事を対象。

注2) 競争参加者数には、辞退・無効及び予定価格超過者を含む。

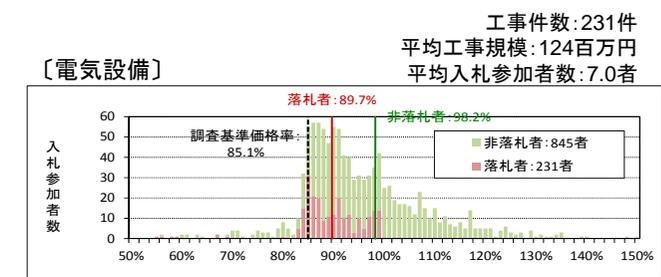
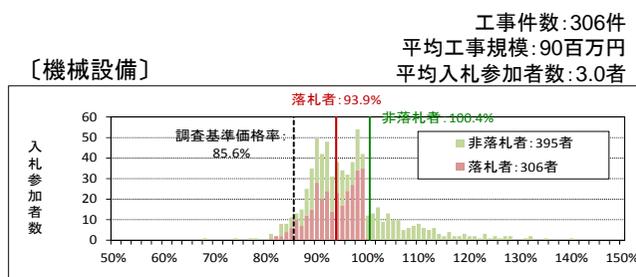
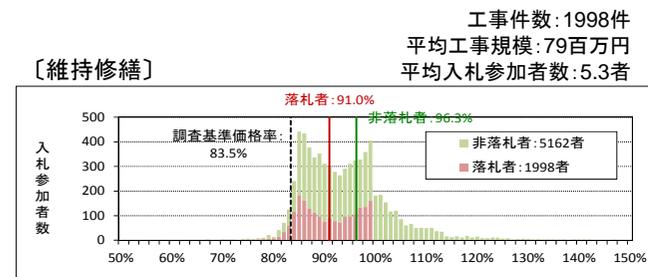
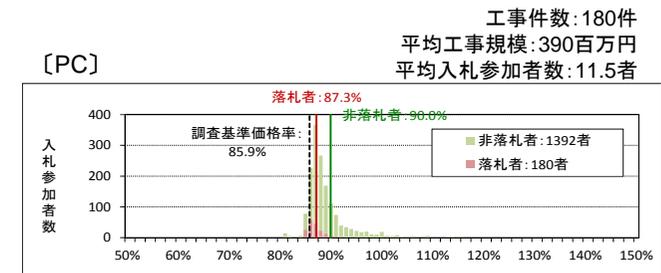
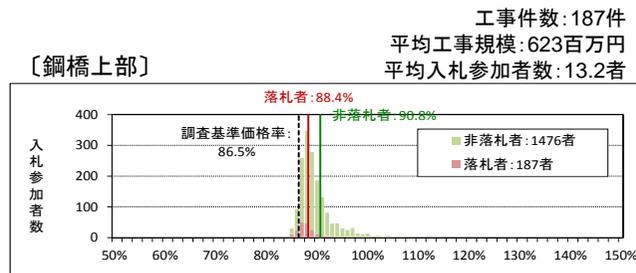
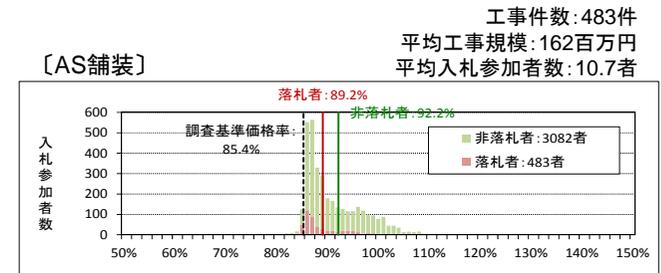
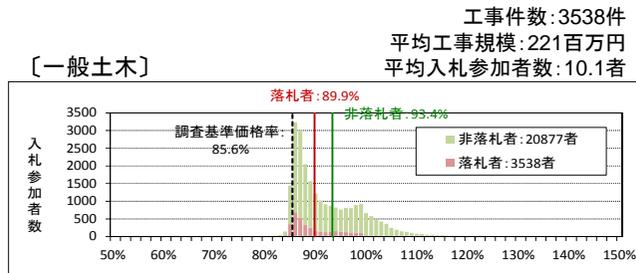
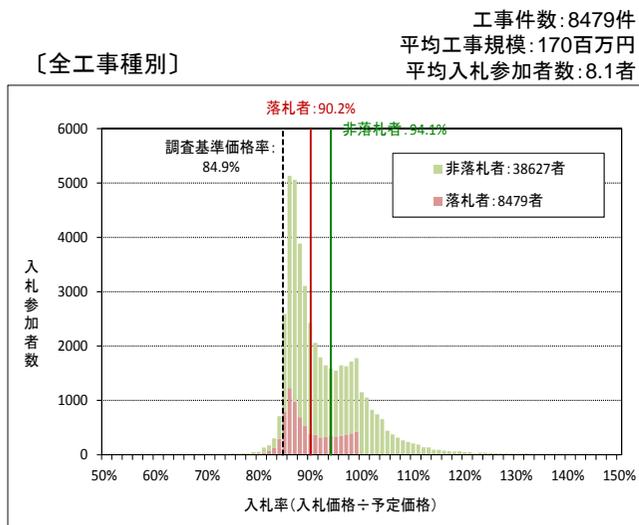
# 3. 入札の状況(平成23年度)



## (1) 入札率の分布

### ① 工事種別別

- 「一般土木」、「AS舗装」、「鋼橋上部」、「PC」は、入札率85%に一極集中した分布形状となっており、特に「鋼橋上部」と「PC」は、その傾向が顕著である。
- 平均工事規模が比較的小さな「維持修繕」、「機械設備」、「電気設備」では、入札率85%付近への集中に加えて、入札率100%付近にも分布が集中している。



注1) 8地方整備局(港湾空港関係工事を除く)の平成23年度契約工事を対象。  
注2) 調査基準価格の設定されていない工事を除く。

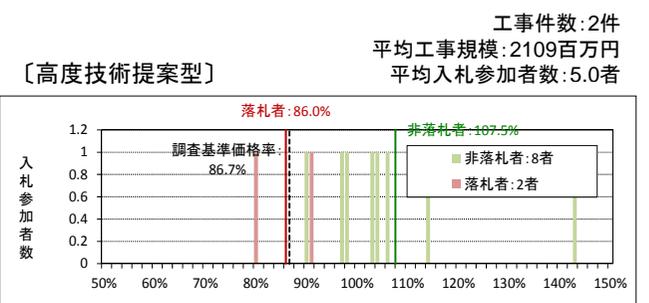
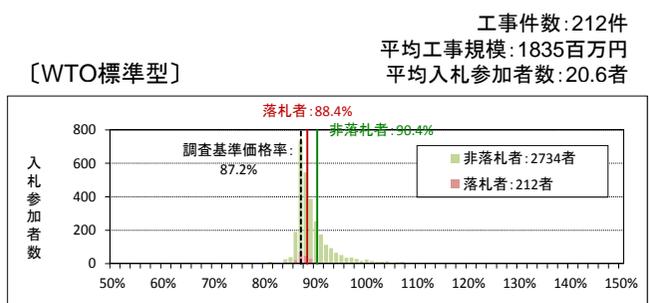
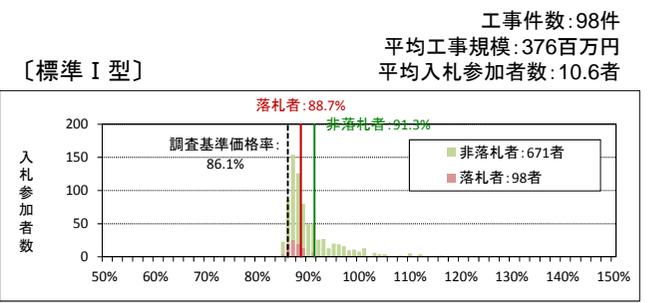
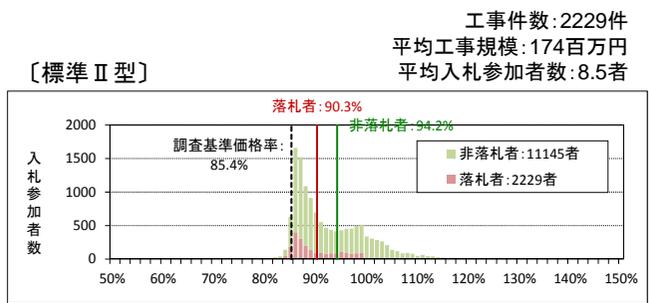
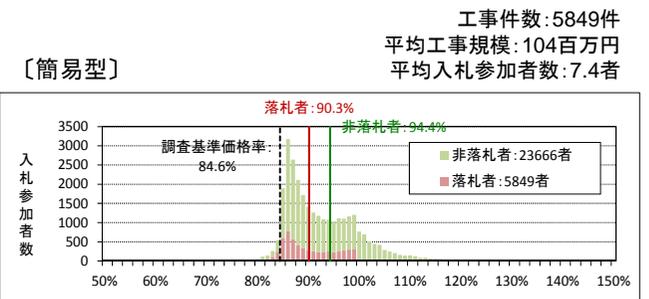
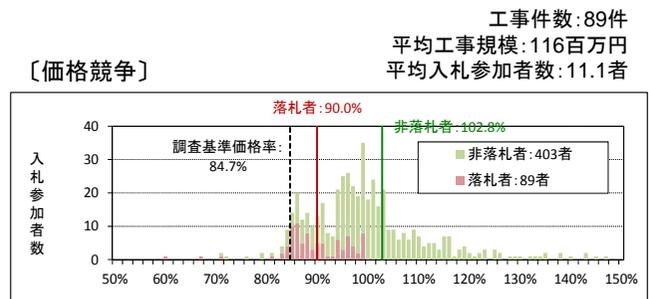
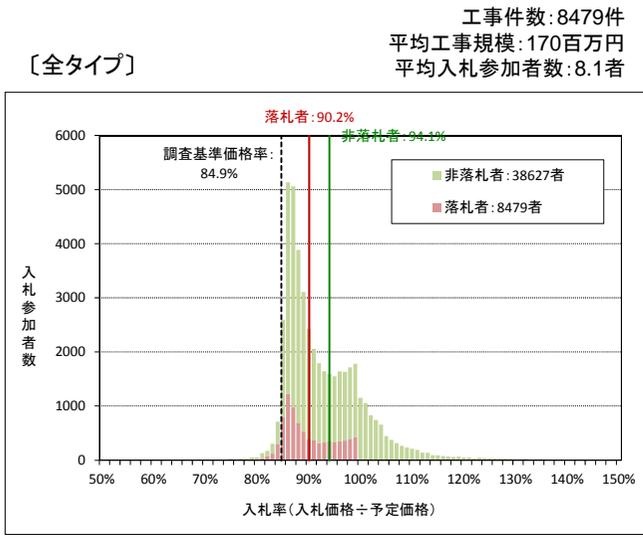
注3) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。

# 3. 入札の状況(平成23年度)



## ②総合評価のタイプ別

■「簡易型」では、入札率85%と入札率100%付近と2つのピークをもつ分布形状となっているが、上位タイプほど入札率85%付近に分布が集中する傾向が見られる。



注1) 8地方整備局(港湾空港関係工事を除く)の平成23年度契約工事を対象。  
 注2) 調査基準価格の設定されていない工事を除く。  
 注3) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。

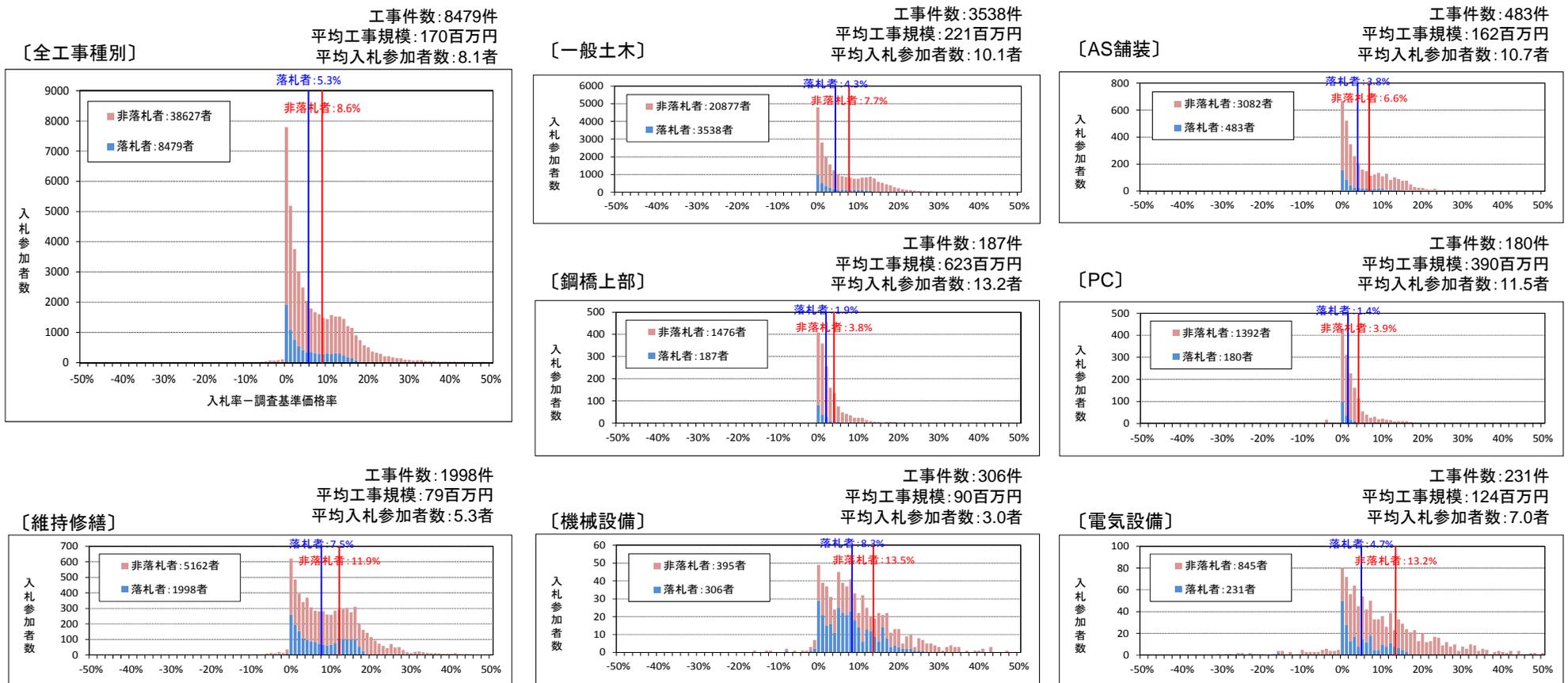
# 3. 入札の状況(平成23年度)



## (2) 「入札率-調査基準価格率」の分布

### ① 工事種別別

- 入札率と調査基準価格率の差が0%に集中している。この結果は、調査基準価格付近での入札が多いことを示している。
- 工種別では、「一般土木」、「AS舗装」、「鋼橋上部」、「PC」において、入札率と調査基準価格率の差が0%に集中する傾向が顕著である。



注1) 8地方整備局(港湾空港関係工事を除く)の平成23年度契約工事を対象。  
 注2) 調査基準価格の設定されていない工事を除く。

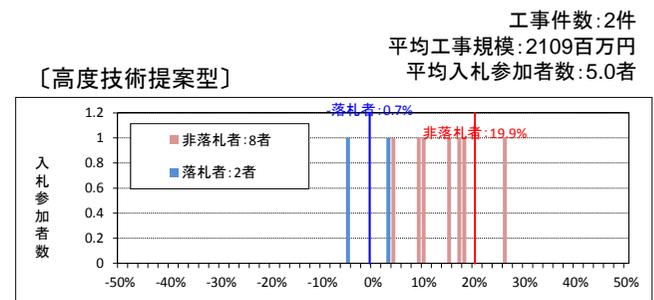
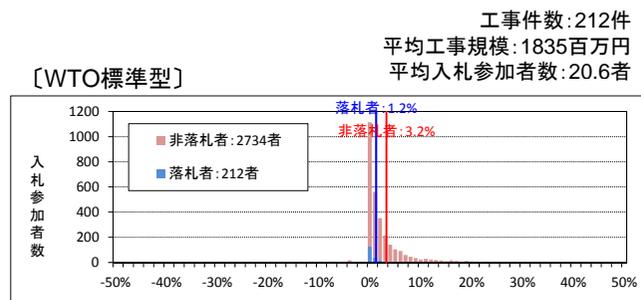
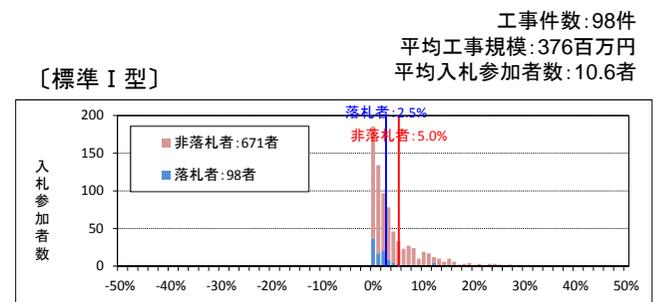
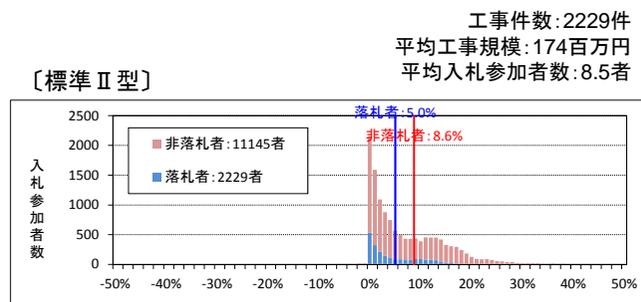
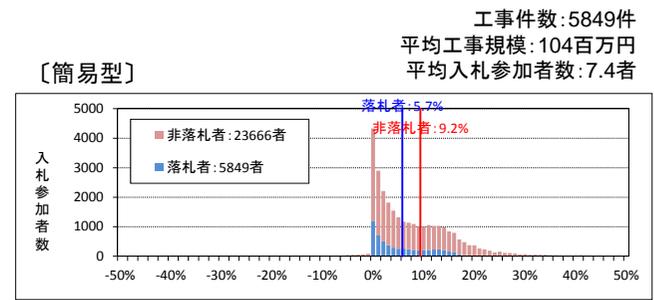
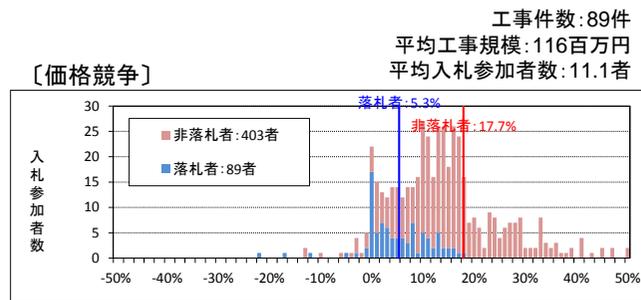
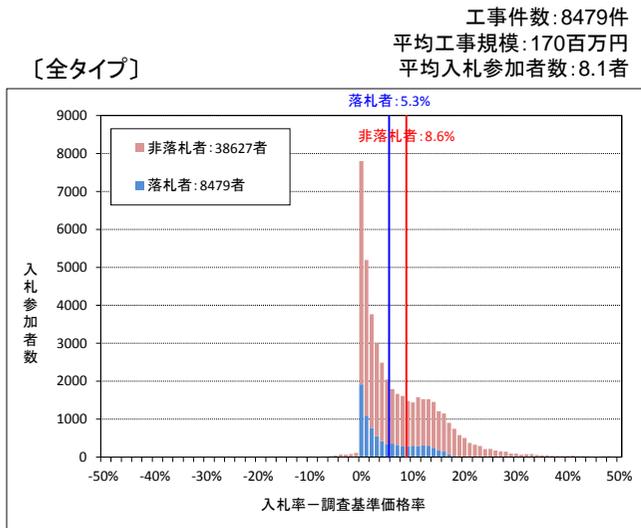
注3) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。

# 3. 入札の状況(平成23年度)



## ②総合評価のタイプ別

■ 総合評価のタイプ別に見ると、上位タイプを適用した工事ほど入札率と調査基準価格率の差の分布が0%に集中する傾向が見られる。



注1) 8地方整備局(港湾空港関係工事を除く)の平成23年度契約工事を対象。  
注2) 調査基準価格の設定されていない工事を除く。

注3) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。

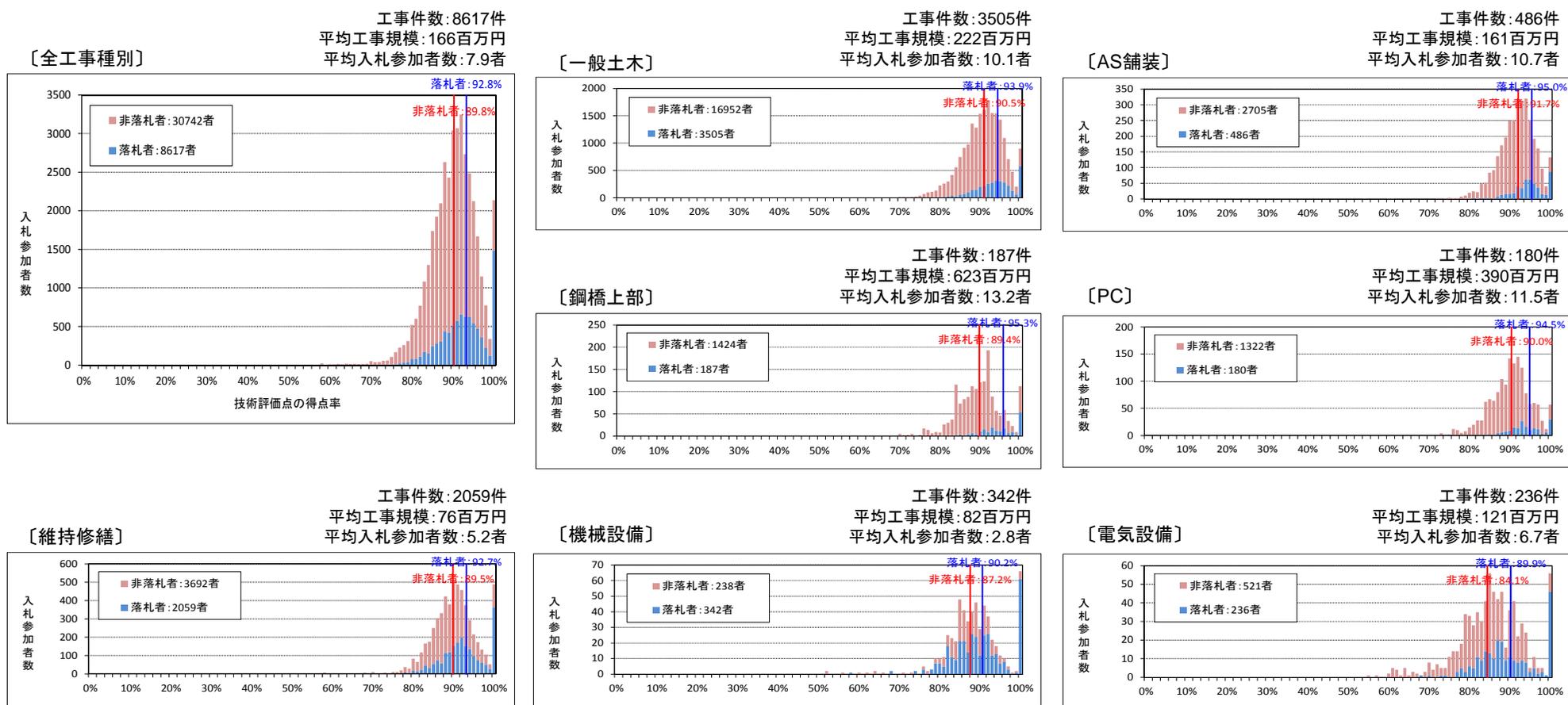
# 4. 技術評価の状況(平成23年度)



## (1) 技術評価点の状況(得点率の分布)

### ① 工事種別別

- 技術評価点の得点率(各社の技術評価点÷技術評価点の満点)の平均を工種別に比較すると、「一般土木」、「AS舗装」、「鋼橋上部」、「PC」の得点率が比較的高い。
- 一方、「機械設備」、「電気設備」は、得点率が低い範囲にも落札者が分布している。



注1) 8地方整備局(港湾空港関係工事を除く)の平成23年度契約工事を対象。  
 注2) 価格競争を除く。

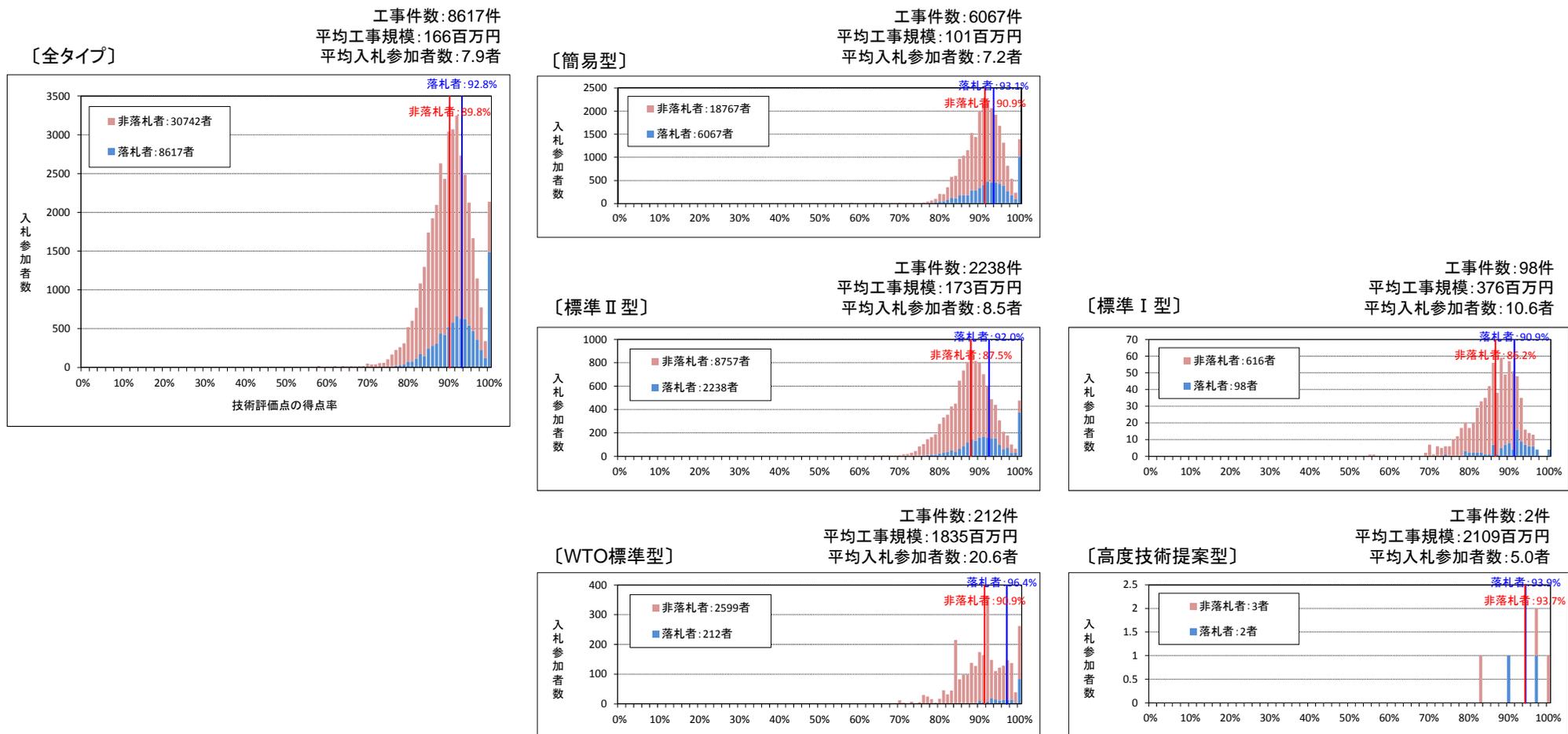
注3) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。  
 (ここでは更に予定価格超過者を除く)

# 4. 技術評価の状況(平成23年度)



## ②総合評価のタイプ別

■ 総合評価のタイプ別では、落札者の技術評価点の得点率(各社の技術評価点÷技術評価点の満点)に大きな違いは見受けられないが、「標準Ⅱ型」、「標準Ⅰ型」、「WTO標準型」では落札者と非落札者の平均得点率に差異が見られる。



注1) 8地方整備局(港湾空港関係工事を除く)の平成23年度契約工事を対象。  
 注2) 価格競争を除く。

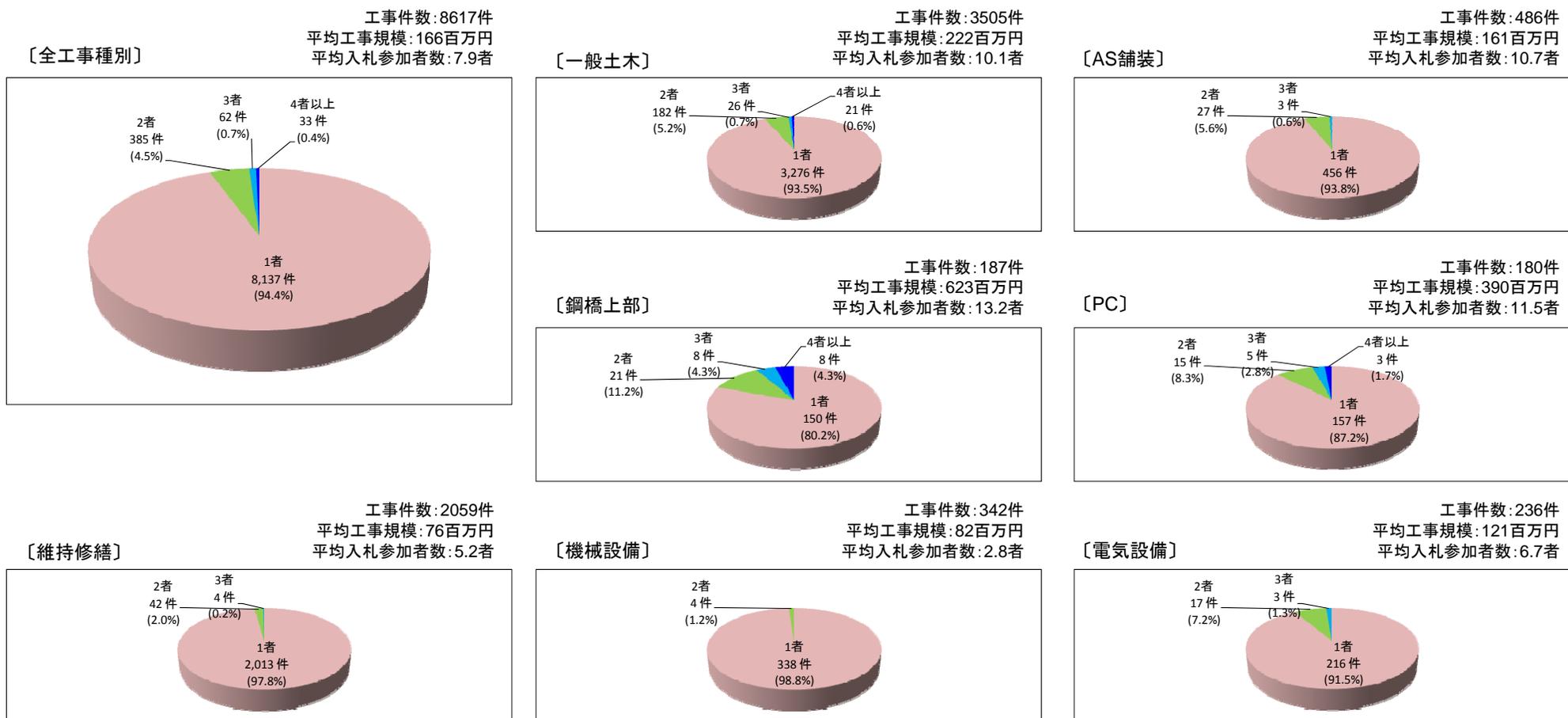
注3) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。  
 (ここでは更に予定価格超過者を除く)

# 4. 技術評価の状況(平成23年度)

## (2) 技術評価点の状況 (1位同点者数)

### ① 工事種別別

■ 工種別では、「鋼橋上部」、「PC」において、技術評価点1位同点者が多く発生している。



注1) 8地方整備局(港湾空港関係工事を除く)の平成23年度契約工事を対象。

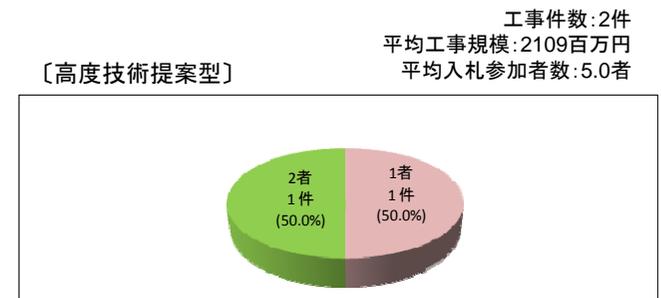
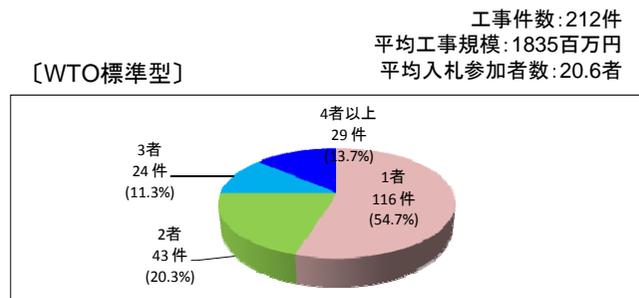
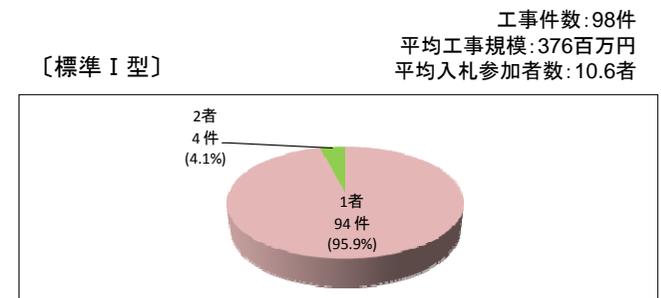
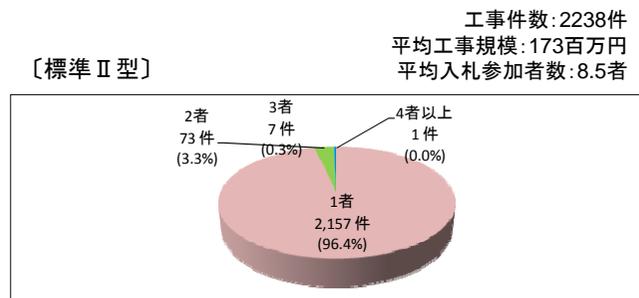
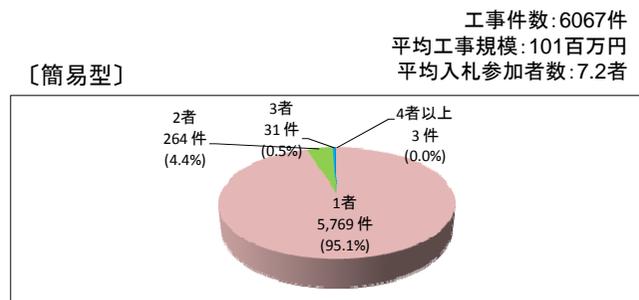
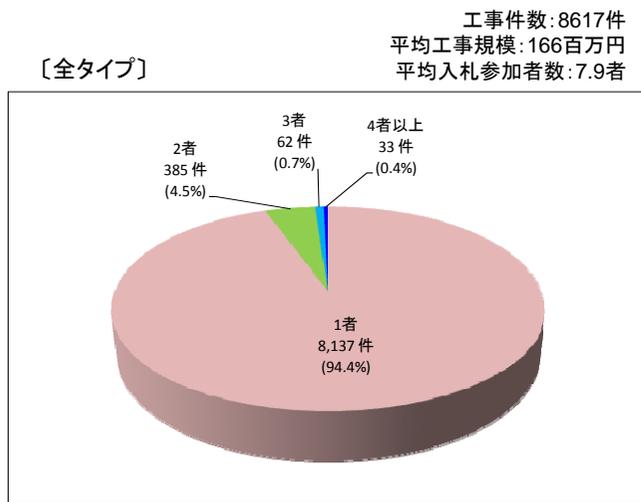
注2) 価格競争を除く。

注3) 技術評価点1位者数は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

# 4. 技術評価の状況(平成23年度)

## ②総合評価のタイプ別

■ 総合評価落札方式のタイプ別には、「WTO標準型」を適用した工事において、技術評価点1位同点者が多く発生している。



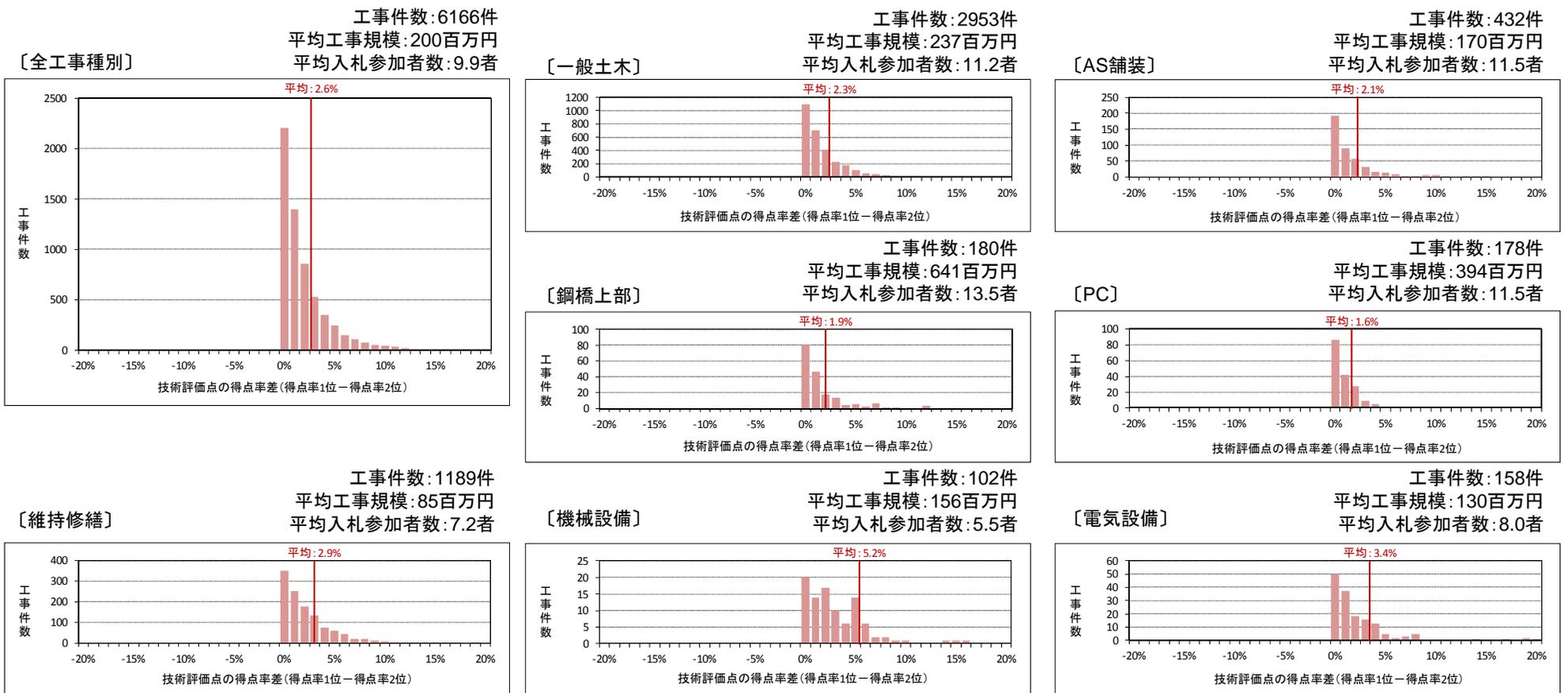
注1) 8地方整備局(港湾空港関係工事を除く)の平成23年度契約工事を対象。  
注2) 価格競争を除く。  
注3) 技術評価点1位者数は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

# 4. 技術評価の状況(平成23年度)

## (3) 技術評価点の状況(1位と2位の得点率の差の分布)

### ① 工事種別別

■ 技術評価点1位と2位の得点率の差を工種別に比較すると、「機械設備」と「電気設備」が他工種に比べて差が大きい。



注1) 8地方整備局(港湾空港関係工事を除く)の平成23年度契約工事を対象。

注2) 価格競争を除く。

注3) 予定価格内1者の案件を除く。

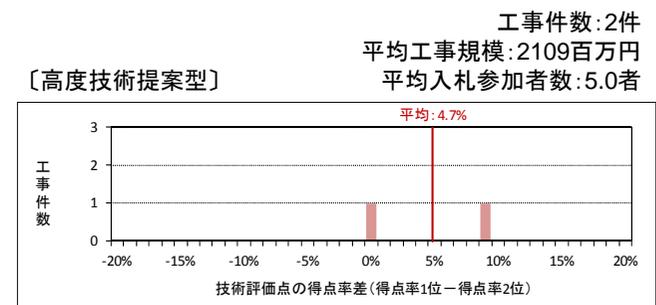
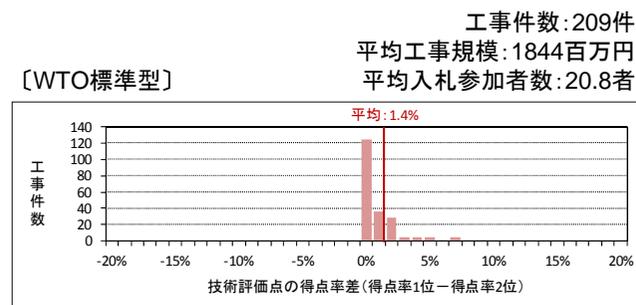
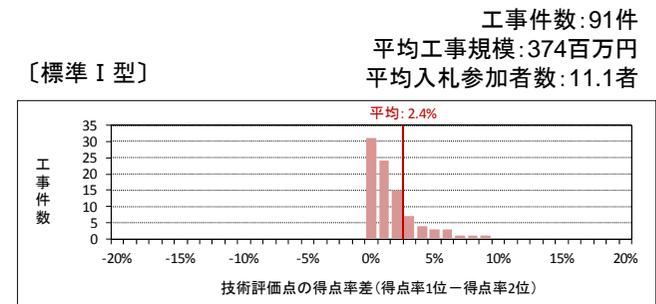
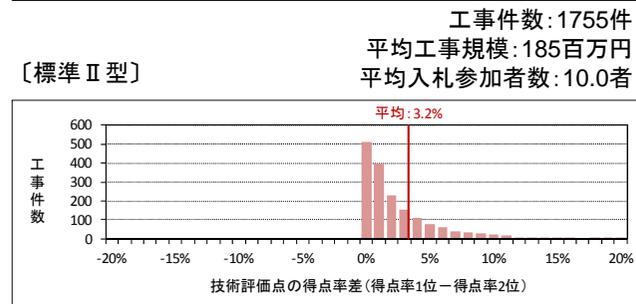
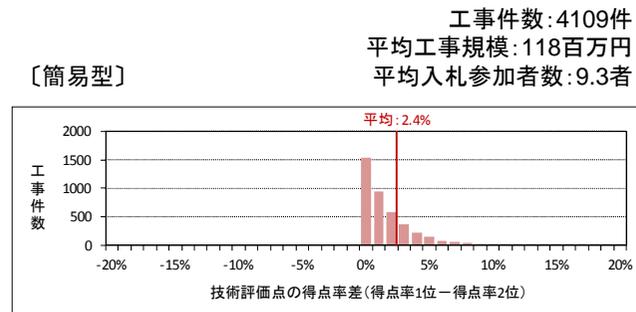
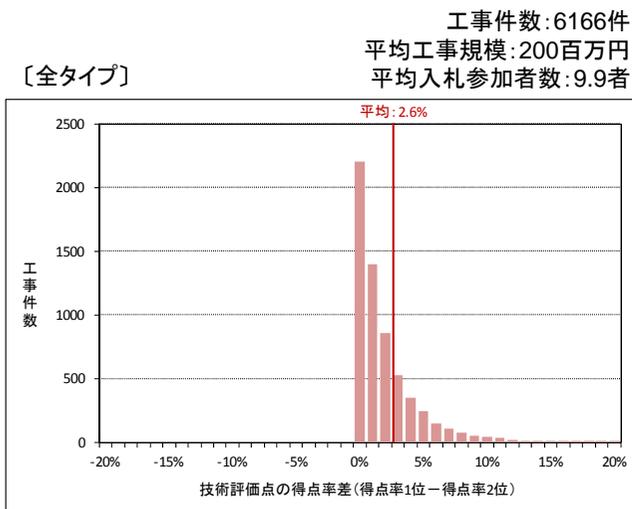
注4) 得点率の順位は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

# 4. 技術評価の状況(平成23年度)



## ②総合評価のタイプ別

■ 技術評価点1位と2位で技術評価点の得点率の差をタイプ別に比較すると、「WTO標準型」が他のタイプに比べて差が小さい。



注1) 8地方整備局(港湾空港関係工事を除く)の平成23年度契約工事を対象。

注2) 価格競争を除く。

注3) 予定価格内1者の案件を除く。

注4) 得点率の順位は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

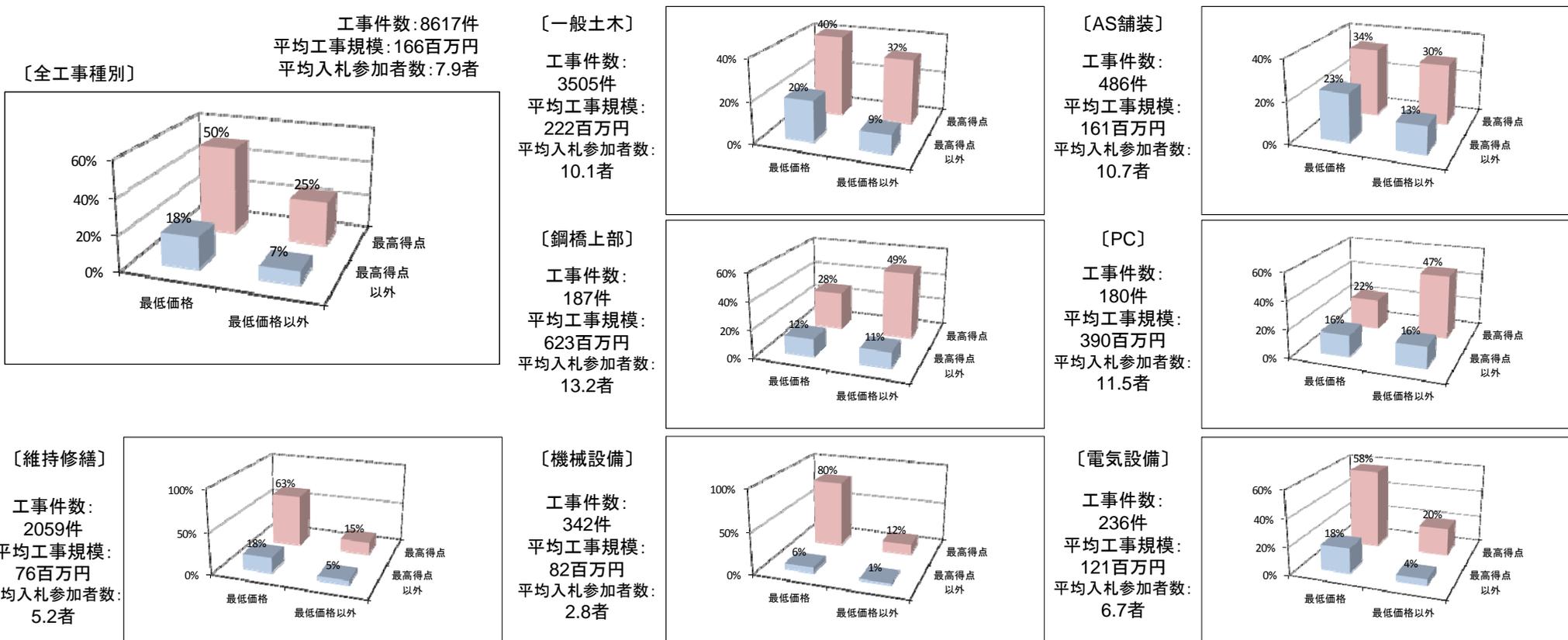
# 5. 総合評価の結果と落札者の特徴(平成23年度)



## (1) 落札者の内訳

### ① 工事種別別

- 落札者の内訳を全工事種別で見ると、最高得点かつ最低価格の企業が落札する割合が最も高い。
- 一方、「鋼橋上部」と「PC」では、最高得点かつ最低価格以外の企業が落札する割合が最も高くなっている。

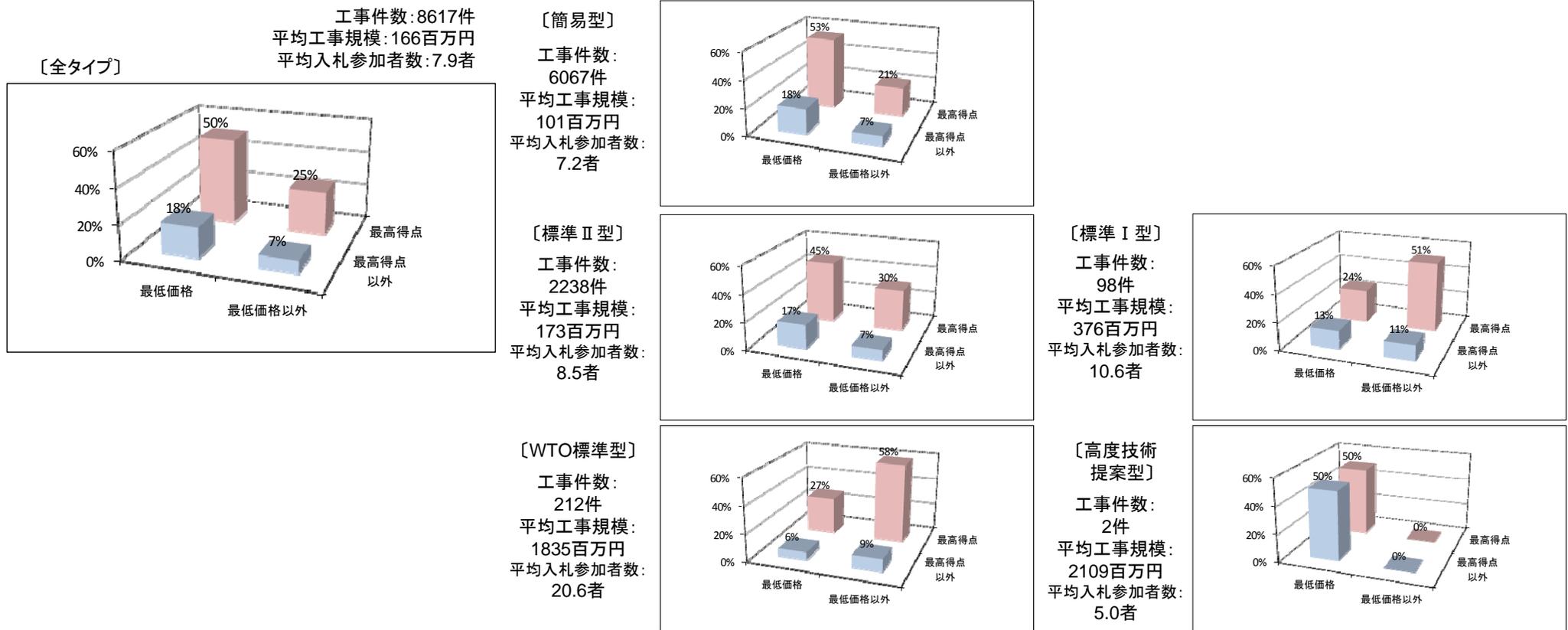


注1) 8地方整備局(港湾空港関係工事を除く)の平成23年度契約工事を対象。  
 注2) 価格競争を除く。 注3) 落札者の内訳は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

# 5. 総合評価の結果と落札者の特徴(平成23年度)

## ②総合評価のタイプ別

- タイプ別に落札者の内訳を比較すると、「簡易型」、「標準Ⅱ型」において最高得点かつ最低価格の企業が落札する割合が最も高い。
- 一方、「標準Ⅰ型」、「WTO標準型」においては、最高得点かつ最低価格以外の企業が落札する割合が最も高い。



注1) 8地方整備局(港湾空港関係工事を除く)の平成23年度契約工事を対象。  
 注2) 価格競争を除く。  
 注3) 落札者の内訳は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

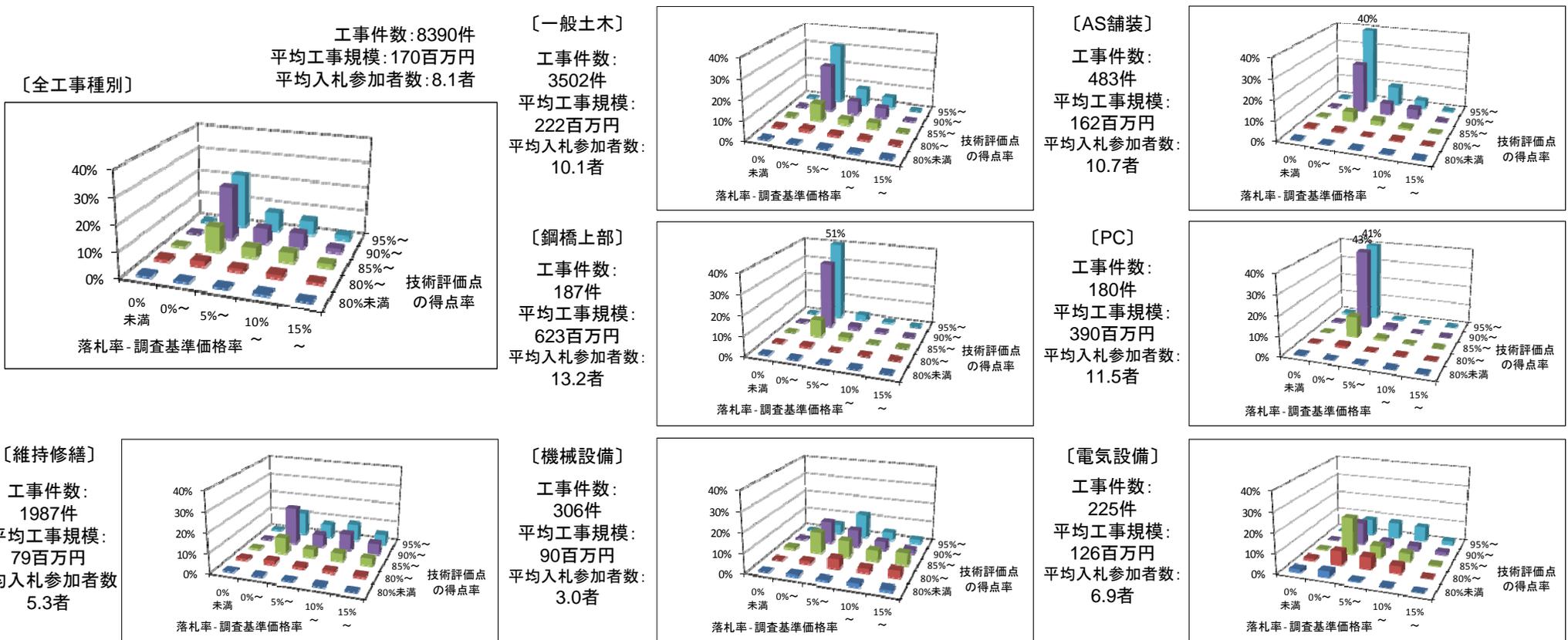
# 5. 総合評価の結果と落札者の特徴(平成23年度)



## (2) 落札者の「落札率-調査基準価格率」と「技術評価点の得点率」

### ① 工事種別別

- 技術評価点の得点率は90%以上、「落札率-調査基準価格率」は0%以上(5%未満)に集中している。
- 工種別に落札者の「落札率-調査基準価格率」と「技術評価点の得点率」を比較すると、他の工事種別と比較し、「鋼橋上部」と「PC」の「落札率-調査基準価格率」が0%以上(5%未満)に分布が一層集中していることが分かる。



注1) 8地方整備局(港湾空港関係工事を除く)の平成23年度契約工事を対象。  
 注2) 価格競争を除く。

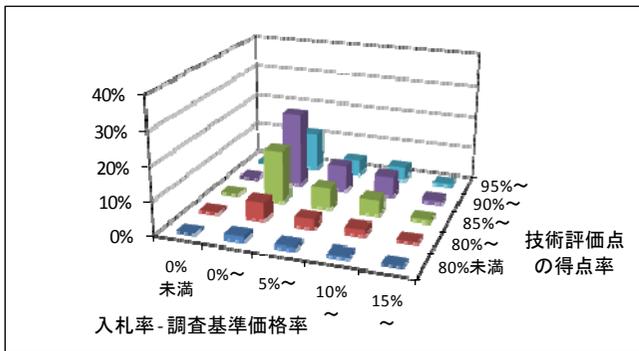
注3) 調査基準価格が設定されていない工事は除く。

# 5. 総合評価の結果と落札者の特徴(平成23年度)



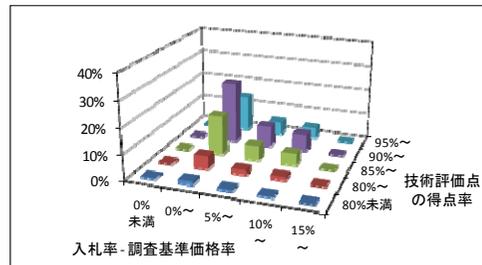
## 【参考】全入札参加者の「入札率-調査基準価格率」と「技術評価点の得点率」

応札者数: 39003者  
平均工事規模: 170百万円  
〔全工事種別均入札参加者数: 8.1者



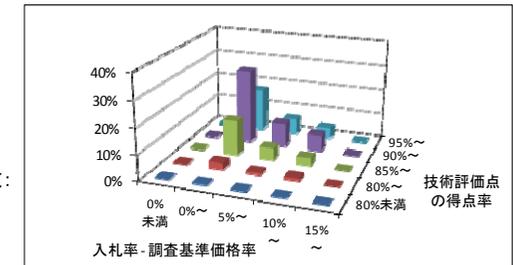
### 〔一般土木〕

応札者数: 20454者  
平均工事規模: 222百万円  
平均入札参加者数: 10.1者



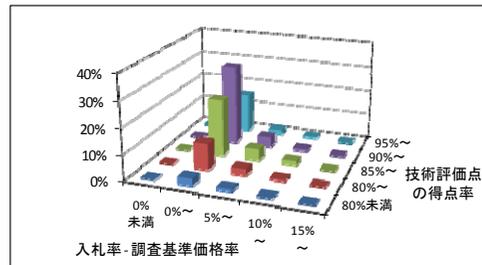
### 〔AS舗装〕

応札者数: 3183者  
平均工事規模: 162百万円  
平均入札参加者数: 10.7者



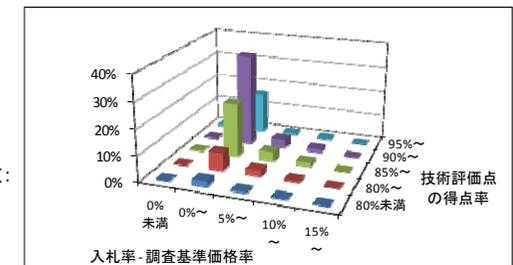
### 〔鋼橋上部〕

応札者数: 1611者  
平均工事規模: 623百万円  
平均入札参加者数: 13.2者



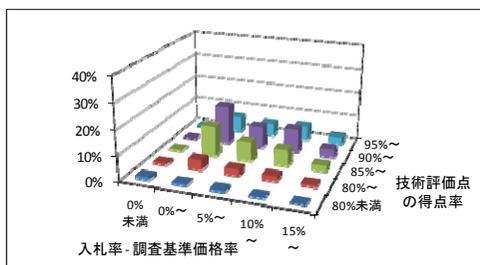
### 〔PC〕

応札者数: 1502者  
平均工事規模: 390百万円  
平均入札参加者数: 11.5者



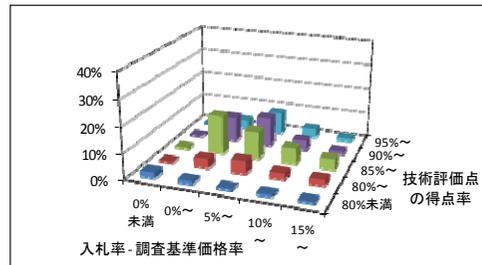
### 〔維持修繕〕

応札者数: 5642者  
平均工事規模: 79百万円  
平均入札参加者数: 5.3者



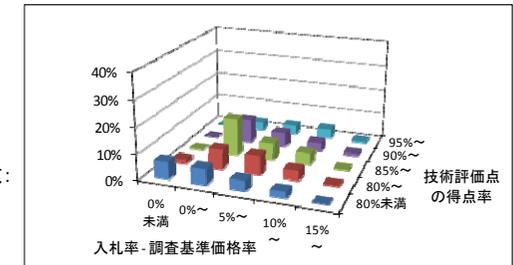
### 〔機械設備〕

応札者数: 534者  
平均工事規模: 90百万円  
平均入札参加者数: 3.0者



### 〔電気設備〕

応札者数: 736者  
平均工事規模: 126百万円  
平均入札参加者数: 6.9者



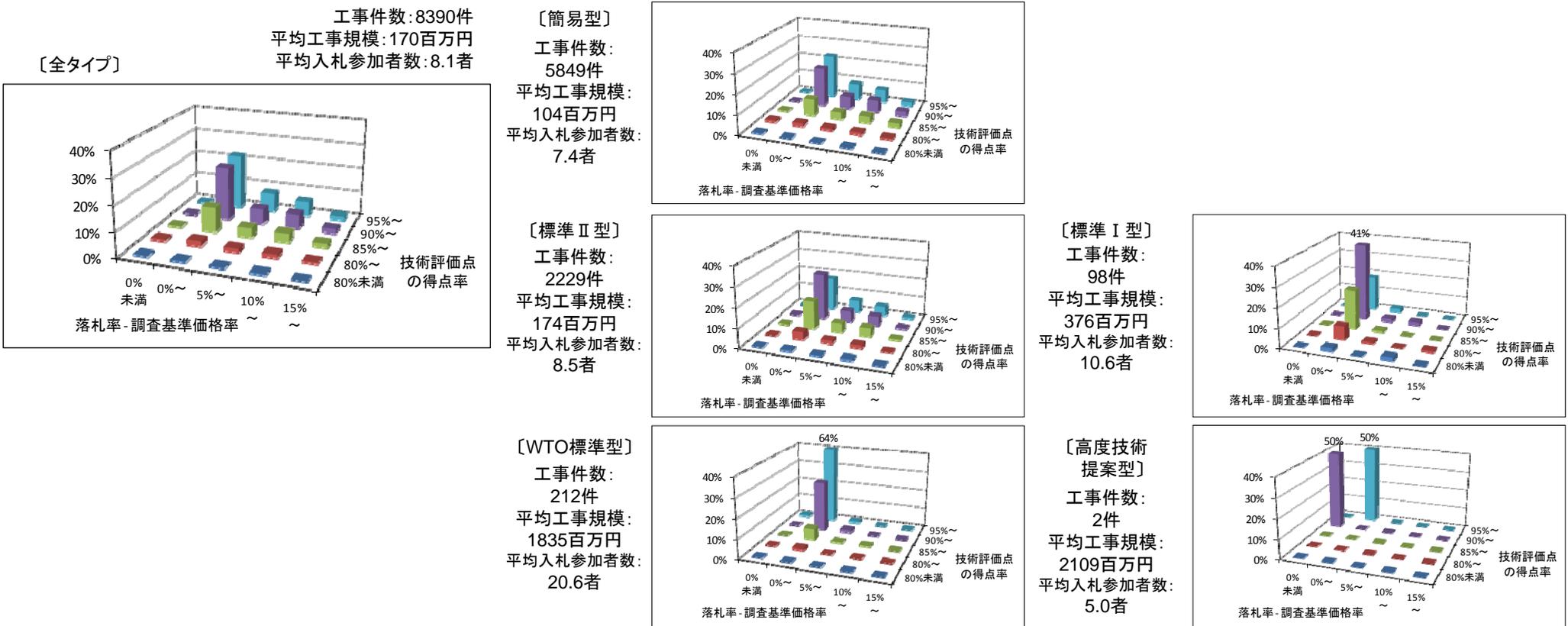
注1) 8地方整備局(港湾空港関係工事を除く)の平成23年度契約工事を対象。  
注2) 価格競争を除く。

注3) 調査基準価格が設定されていない工事は除く。  
注4) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。(ここでは更に予定価格超過者を除く)

# 5. 総合評価の結果と落札者の特徴(平成23年度)

## ②総合評価のタイプ別

- 簡易型や標準Ⅱ型では、“落札率-調査基準価格率”が5%以上(調査基準価格から離れた価格での入札)で落札している者もいるが、標準Ⅰ型とWTO標準型ではほぼ全ての落札者が0%以上(5%未満)に集中している。
- 更に、WTO標準型は、標準Ⅰ型に比べて技術評価点の得点率が高得点帯に集中している。



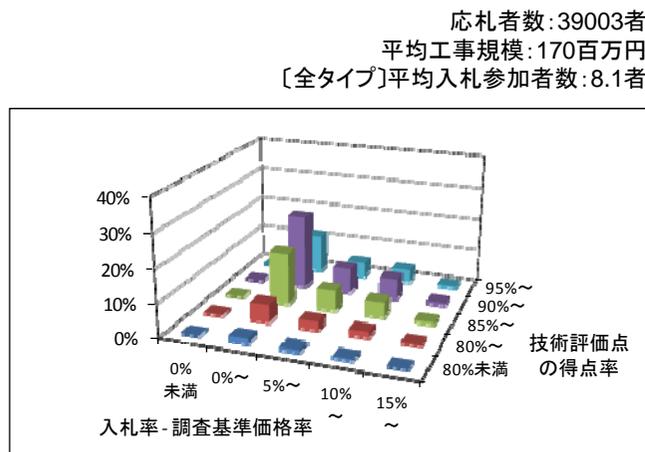
注1) 8地方整備局(港湾空港関係工事を除く)の平成23年度契約工事を対象。  
 注2) 価格競争を除く。

注3) 調査基準価格が設定されていない工事は除く。

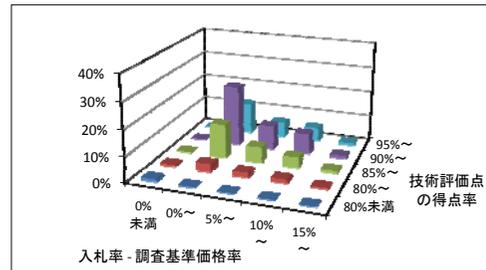
# 5. 総合評価の結果と落札者の特徴(平成23年度)



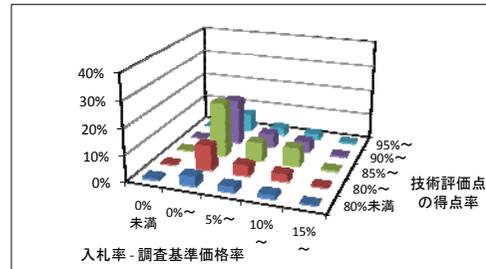
## 【参考】全入札参加者の「入札率-調査基準価格率」と「技術評価点の得点率」



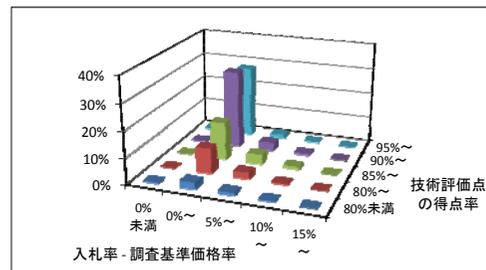
**〔簡易型〕**  
 応札者数:  
 24492者  
 平均工事規模:  
 104百万円  
 平均入札参加者数:  
 7.4者



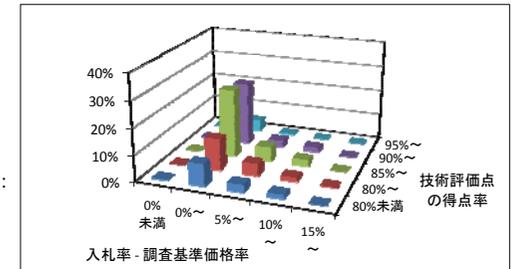
**〔標準Ⅱ型〕**  
 応札者数:  
 10981者  
 平均工事規模:  
 174百万円  
 平均入札参加者数:  
 8.5者



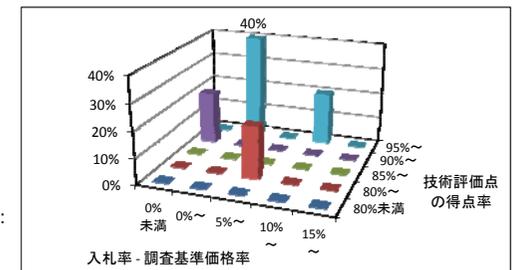
**〔WTO標準型〕**  
 応札者数:  
 2811者  
 平均工事規模:  
 1835百万円  
 平均入札参加者数:  
 20.6者



**〔標準Ⅰ型〕**  
 応札者数:  
 714者  
 平均工事規模:  
 376百万円  
 平均入札参加者数:  
 10.6者



**〔高度技術提案型〕**  
 応札者数:  
 5者  
 平均工事規模:  
 2109百万円  
 平均入札参加者数:  
 5.0者



注1) 8地方整備局(港湾空港関係工事を除く)の平成23年度契約工事を対象。  
 注2) 価格競争を除く。

注3) 調査基準価格が設定されていない工事は除く。  
 注4) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。(ここでは更に予定価格超過者を除く)

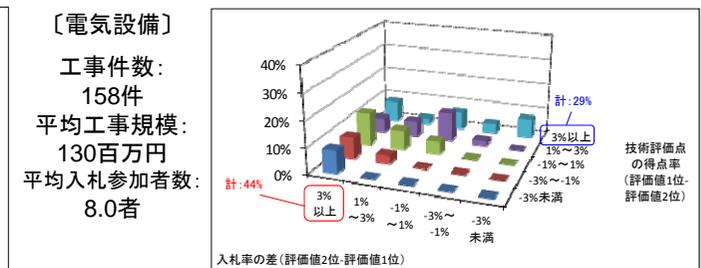
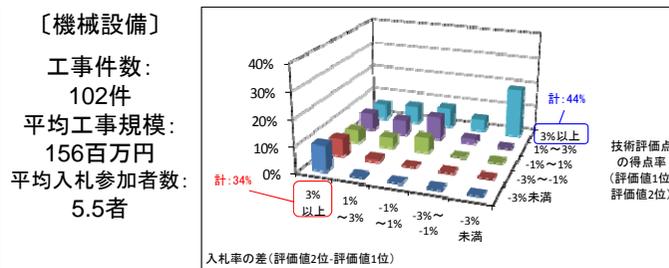
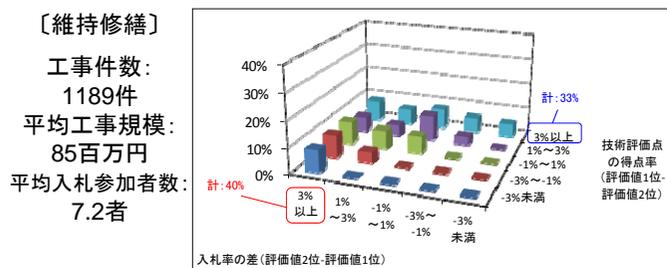
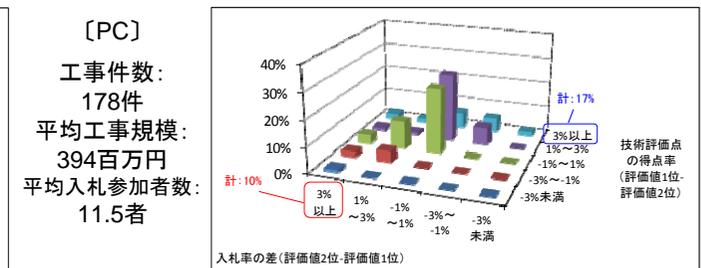
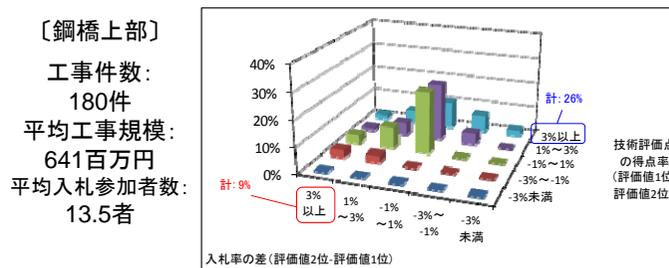
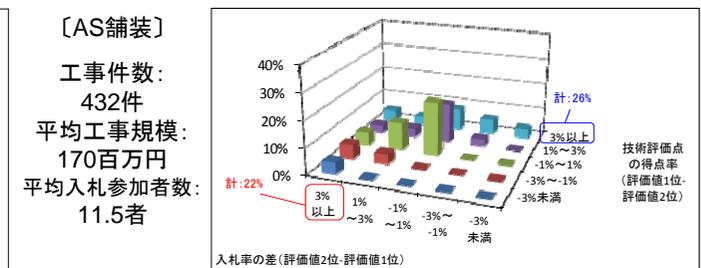
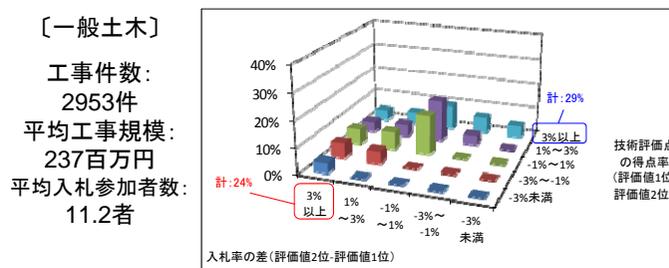
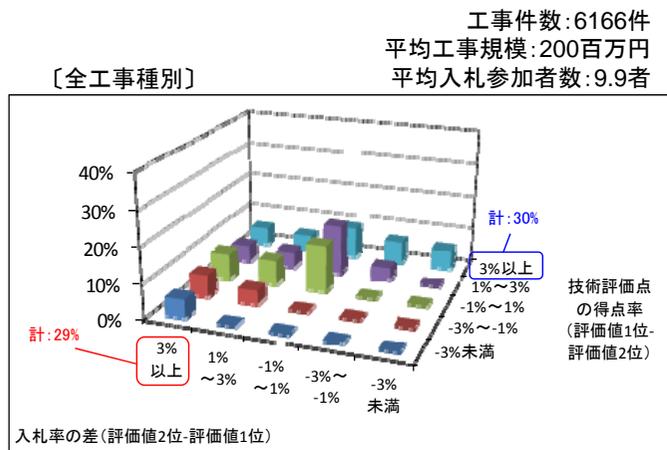
# 5. 総合評価の結果と落札者の特徴(平成23年度)



## (3) 落札者(評価値1位)と次点者(評価値2位)の「入札率」及び「技術評価点の得点率」の差

### ① 工事種別別

■ 「鋼橋上部」と「PC」は、入札率の差が±1%に集中する度合いが顕著である。また、技術評価点の得点率の差も-1%~3%に集中しており、価格と技術の両面で差の付きにくくなっている。



注1) 8地方整備局(港湾空港関係工事を除く)の平成23年度契約工事を対象。

注2) 予定価格内1者の案件は除く。

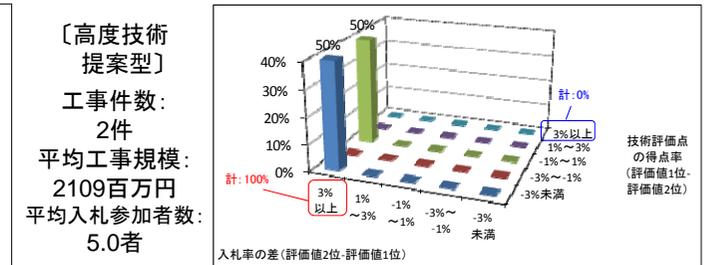
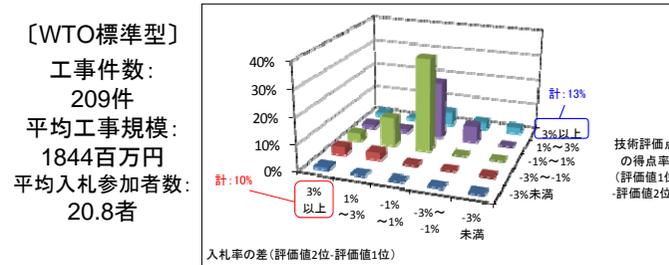
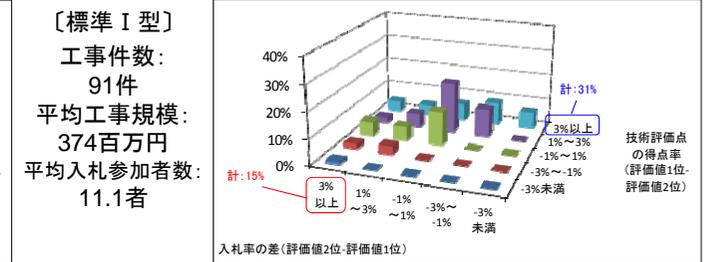
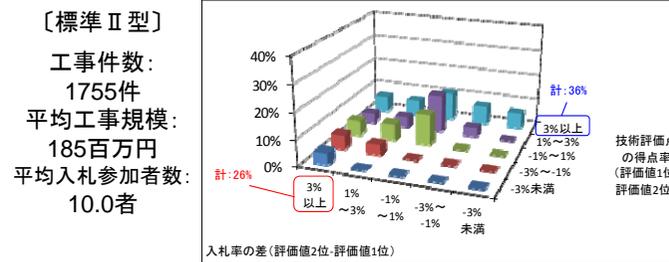
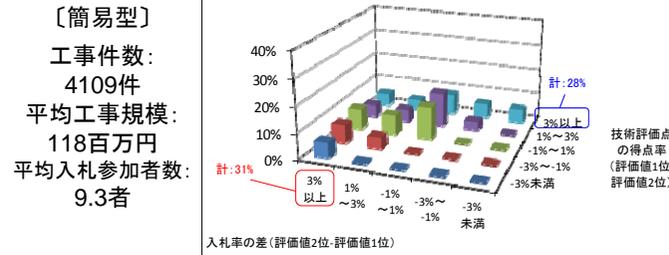
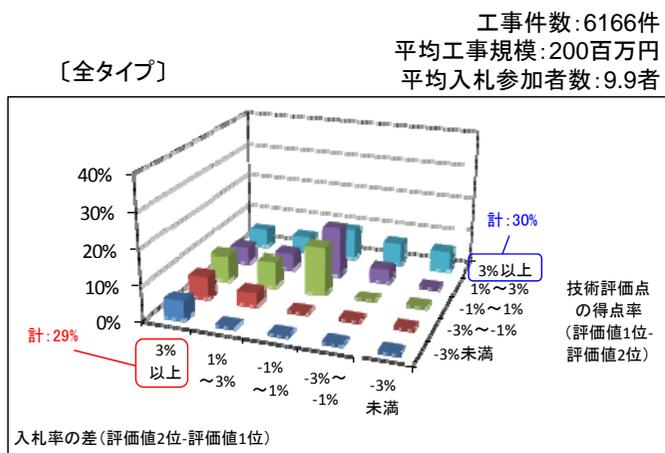
注3) 価格競争を除く。

注4) 落札者の内訳は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

# 5. 総合評価の結果と落札者の特徴(平成23年度)

## ②総合評価のタイプ別

- 「WTO標準型」は、入札率の差が±1%に集中する度合いが顕著である。また、技術評価点の得点率の差も-1%～3%に集中しており、価格と技術の両面で差の付きにくくなっている。
- また、「WTO標準型」が入札率の差が3%以上(落札者が3%以上価格が安い)の割合が少ない。



注1)8地方整備局(港湾空港関係工事を除く)の平成23年度契約工事を対象。

注2)予定価格内1者の案件は除く。

注3)価格競争を除く。

注4)落札者の内訳は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。